

サイボウズ[®] デヂエ[®]

サイボウズ デヂエ 5.0

システム管理ガイド

2005年4月1日 第四版

発行 サイボウズ株式会社 ナレッジ事業推進部



目次


| | |
|--------------------------------|---------|
| 人の設定がしたい | > 3-25 |
| システム管理者の設定 | >>3 |
| システム管理者用パスワードの設定 | >>4 |
| サポート登録者の設定 | >>5 |
| ユーザーの設定 | >>6 |
| ユーザー情報の連携の設定 | >>17 |
| グループの設定 | >>21 |
| 運用の設定がしたい | >26-60 |
| ライブラリの運用管理 | >>26 |
| ライセンスキーの設定 | >>30 |
| ライセンスキーの登録状況 | >>34 |
| ライブラリ及びフォルダ運用権の設定 | >>36 |
| フォルダのアクセス権の設定 | >>38 |
| ログイン方法の設定 | >>39 |
| サイボウズ共通認証の設定 | >>41 |
| システムログの表示 | >>58 |
| ライブラリアクセスログの設定 | >>60 |
| メンテナンス時間の設定 | >>69 |
| ライブラリの最適化 | >>71 |
| 環境の設定がしたい | >75-151 |
| Web サーバーのインストール | >>75 |
| 新規インストール (Windows) | >>90 |
| 新規インストール (UNIX) | >>97 |
| 新規インストール (SUN Cobalt) | >>116 |
| 最新版の「デヂエ」にバージョンアップ (Windows) | >>120 |
| 最新版の「デヂエ」にバージョンアップ (UNIX) | >>120 |
| メールサーバーの設定 | >>122 |
| バックアップ方法 | >>124 |
| デヂエ の移行方法 | >>126 |
| 外部に公開する時の設定 | >>130 |
| デヂエ の基本情報 | >>132 |
| 仮想ディレクトリとは | >>136 |



システム管理

システム管理者の設定

システム管理者は、デジエ の運用、ユーザー、システム管理に関する設定を行うことができます。

システム管理者として登録されたユーザーの画面には、 ボタン、あるいは [[システム設定](#)] のリンクが表示されます。（カスタマイズの設定状況によって表示は異なります。）


※ デジエ をインストールした直後は、全員がシステム管理者に設定されています。
ライブラリ構築の前にシステム管理者を設定されることをお勧めします。

1. システム管理者としてログインする

※ システム管理者が未設定、あるいは 全員に設定されている場合は、ログインする必要はありません。

2. 画面右下の [[システム設定](#)] を押す

「システム設定メニュー」画面が表示されます。

※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する

4. 左のメニューから [[システム運用管理](#)] をクリックする

「システム運用管理」画面が表示されます。

5. [[システム管理者の設定](#)] をクリックする

「システム管理者の設定」画面が表示されます。

6. システム管理者に設定したいユーザーが所属するグループを、右上のプルダウンメニューから選択し、グループに所属するユーザーをリストに表示させる

7. 右側のリストから、システム管理者に設定したいユーザーを選択して反転表示させ、

  を押す

8. を押す



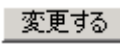
「システム設定メニュー」画面に戻ります。

※ システム管理者は、1人以上のユーザーを登録する必要があります。

システム管理者用パスワードの設定


システム管理用パスワードを設定すると、システム設計を行う前にパスワードを要求されます。

インストール直後は、全員がシステム管理者で、さらにパスワードも設定されていない状態です。そのため、全員がシステム設計を行うことができます。まず、システム管理者用パスワードを登録されることをお勧めします。



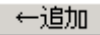


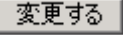
1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. 既にシステム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [システム運用管理] をクリックする
「システム運用管理」画面が表示されます。
5. [システム管理用パスワードの設定] をクリックする
「システム管理者用パスワード設定」画面が表示されます
6. 半角英数文字でパスワードを登録する（確認用にも入力）
 - はじめは、設定用パスワードの登録の有無を問わず、「*****」が表示されています。これを削除の上、登録してください。
 - 管理用パスワードは、半角英数 64 文字まで入力可能です。
7.  を押す
「システム設定メニュー」画面に戻ります。
 - 一度設定用パスワードを入力すると、ログアウト、もしくはブラウザを終了するまで設定権限が有効となります。

サポート登録者の設定

デジエ のサポートセンターには、サポート登録者のみが問い合わせることができます。窓口となるユーザー様をサポート登録者として設定してください。

サポート登録者として設定されたユーザーには、ログイン後の各画面で  が表示され、「お客様サポートオンライン」をご利用いただけます。

※ サポート登録者は、最大 2 名まで登録できます。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [システム運用管理] をクリックする
「システム運用管理」画面が表示されます。
5. [サポート登録者の設定] をクリックする
「サポート登録者の設定」画面が表示されます。
6. サポート登録者にしたいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、下のリストに表示する
7. リストからサポート登録したいユーザーを選択して反転表示させ、  を押す
 - (i) サポート登録者はメールアドレスの登録が必須です。
メールアドレスが設定されていないユーザーを選択した場合は、 を押した時点でメールアドレスの設定画面が表示されますので、登録してください。
なお この画面で設定されたメールアドレスは、ユーザー情報にも反映されます。
8.  を押す
「システム設定メニュー」画面に戻ります。





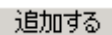
ユーザーの設定

デヂエ を利用するユーザーを登録することができます。

ユーザーを登録すると、デヂエ にログインしての利用が可能です。また、ユーザーごとにアクセス権やデフォルトビューを設定するといった運用も実現します。

- ※ システム管理者、ライブラリ管理者、サポート登録者の登録は、事前にユーザー登録が必要です。
 - ※ ユーザー情報は、CSV ファイルから一括して登録することもでき、さらに CSV ファイルへ書き出すことも可能です。（ [ユーザー情報の読み込み / 書き出し] を参照のこと ）
 - ※ ユーザー自身によるログインパスワードの変更を許可するかどうかを一括で設定することも可能です。初期値では、パスワード変更を許可する設定になっています。（ [パスワード変更許可の設定] を参照のこと ）
 - ※ ユーザー登録されているユーザーがログインすると、個人設定を行うことができます。
 - ※ 未登録ユーザーであっても、アクセス権が設定されていないライブラリについては閲覧することができます。
- 〈!〉 グループ単位でユーザー管理をしたい場合は、事前にグループの設定が必要です。
- 〈!〉 サイボウズ Office シリーズのユーザー情報と連携している場合は、デヂエ でユーザー登録およびユーザーに関する設定を行うことはできません。連携先での登録・設定をお願いします。

■ ユーザーを追加する

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者のみ全ての画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザーシステム運用管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
6.  を押す
「ユーザーの追加」画面が表示されます。

7. 必要項目を入力する

※ ログインパスワード以外の項目はすべて 100 文字 (Netscape では、半角 100 文字) まで設定可能です。ログインパスワードは半角英数字で 64 文字まで設定可能です。



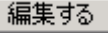
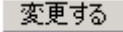
| | |
|---------|--|
| ▶名前 | 必須入力項目です。ユーザー名は重複しても構いませんが、別ユーザーとして認識されます。 |
| ▶ログイン名 | ログイン方法の設定で、「ログイン名を入力する」を選択した場合に必要な項目になります。プルダウンメニューではなく、キーボードからログイン名を直接入力してログインします。インターネットなどでライブラリを公開する場合には、設定されることをお勧めします。 サイボウズ共通認証を使用する場合、この情報を使ってログイン処理を行います。 ※ログイン名は重複して設定することはできません。 |
| ▶E-mail | E-mail アドレスを設定すると、「ユーザーの設定」画面でユーザー名の後ろに E-mail アドレスが表示されます。また、「メール通知の設定画面」にて、通知リストから容易に選択できます。 必須項目ではありません。ただしサポート登録者に設定するユーザーは、必ず E-mail アドレスを設定してください。 |
| ▶パスワード | ログインする時に、パスワードの入力を要求する場合に設定します。半角英数字で 64 文字までのパスワードが設定できます。設定しなくても構いません。 ※ 各ユーザー自身の個人設定でも変更できます。 |
| ▶グループ | 右の「所属しないグループ」(登録されているグループが表示されます)より、所属したいグループ名を選択して、反転表示させます。 ←追加 を押すと「所属するグループ」に追加されます。複数グループに所属させることができます。 |

8. 追加する を押す

「ユーザーの設定」画面に戻ります。







- ▶ 新規に登録されたユーザーは、ユーザー一覧リストの末尾に追加されます。
ユーザーの表示順を変更したい場合は [こちら](#) をご覧ください。
- ▶ 項目を変更できるのはシステム管理者のみです。
ただし、各ユーザー自身によるパスワード変更が許可されている場合は、個人設定よりユーザー毎にパスワードを変更することができます。
- ▶ 登録ユーザー数は「ユーザーの設定」画面の上部で確認できます。

■ ユーザー情報を編集する

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
6. ユーザー情報を編集したいユーザーを選択して反転表示させ、 を押す
「ユーザーの登録内容の変更」画面が表示されます。
7. 項目を編集する
項目の詳細は 7 ページの「6. 必要項目を入力する」をご覧ください。
8.  を押す
「ユーザーの設定」画面に戻ります。

■ ユーザーの表示順を変更する

ユーザーをプルダウンメニューで表示するとき（例えばログイン時のユーザー選択や、アクセス権を設定するとき）の表示順を変更できます。初期値は登録順です。設定は、グループごとに変更できます。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
6. 「グループ」のプルダウンメニューで、順番を設定したいグループを選択する
7. リストから順番を変更したいユーザーを選択して反転表示させ、  を押し、選択したユーザー名を上下に移動させて、順番を変更します。
※   を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

■ ユーザーを削除する



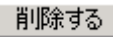

ユーザーの削除は、ユーザーごと、あるいは一括削除のいずれかの方法で行えます。

〈!〉ユーザー情報を削除すると、ライブラリに登録された「メニュー（ユーザー）」フィールドで選択できなくなります。レコード追加時に「メニュー（ユーザー）」フィールドの登録が必須である場合は、場合によってはレコードを登録するができなくなります。

（既存レコードにデータとして登録されているユーザー名は削除されません）その場合は、ライブラリ管理者がフィールドの詳細を編集し直す必要があります。





- アクセス権の設定からもユーザー名が削除されます。必要に応じてアクセス権を設定し直してください。

▶ ユーザーごとの削除

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
6. 削除したいユーザーを選択して反転表示させ、 を押す
「削除の確認」画面が表示されます。
7.  を押す

〈!〉システム管理者、ライブラリ管理者が、削除されたユーザーのみに設定されていた場合、削除後は全員がシステム管理者となります。再設定されることをお勧めします。


▶ **一括削除**

1. システム管理者としてログインする
 2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
 3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
 4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
 5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
 6. 画面下の [ユーザーの一括削除] をクリックする
「ユーザーの一括削除」画面が表示されます。
 7.  を押す
確認画面が表示されます。
 8.  を押す
「ユーザーの設定」画面に戻ります。
- < ! > ユーザー情報をすべて削除すると、システム管理者、ライブラリ管理者は全員となります。再設定されることをお勧めします。
- < ! > 全ユーザーを削除すると、アクセス権の設定、メール通知の設定が初期段階に戻ります。ユーザーを復旧するには、バックアップファイルに戻す、あるいは再度登録する必要があります。(同じユーザーを再登録しても、内部的に割り振られているユーザーID が変更されるため元の状態に戻すことはできません。くれぐれもご注意ください。)


■ ユーザー情報の読み込み/書き出し

CSV ファイルによるユーザー情報の読み込み、書き出しを行うことができます。(グループ情報も同時に読み込むことができます)

▶ ユーザー情報の読み込み

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す

「システム設定メニュー」画面が表示されます。

※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする

「ユーザー管理」画面が表示されます。


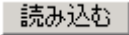
5. [ユーザーの設定] をクリックする

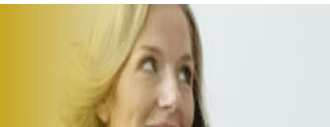
「ユーザーの設定」画面が表示されます。

6. 画面下の [・ユーザーの一括登録 (CSV ファイル)] をクリックする

「CSV ファイル形式からの一括登録」画面が表示されます。



7. 読み込む CSV ファイルを登録する

- ・ 「ユーザー情報」にて  を押して、読み込む CSV ファイルを選択します。(入力欄に直接読み込む CSV ファイルのファイルパスを設定することもできます) グループ情報も同時に読み込む場合は、「グループ情報」にも CSV ファイルを設定します。
- ・  を押す





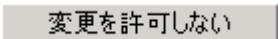
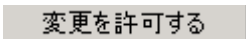
- < ! > 読み込む CSV ファイルのユーザー ID が、既に登録されているユーザーの ID と同じ場合、読み込む CSV ファイルのユーザー情報に置きかわります。また、読み込む CSV ファイルのパスワードの値が「*」の場合は、既に登録されているパスワードがそのまま採用されます。ユーザー ID は、各ユーザーの「個人設定」画面にて確認するか、CSV ファイルに書き出すことで確認できます。
- < ! > 読み込む CSV ファイルのユーザーID が、既に登録されているユーザーの ID と異なる場合、あるいはユーザーID が空の場合は、新規にユーザーとして追加されます。パスワードの値が「*」あるいは空欄の場合は、パスワードは読み込まれません。
- < ! > 読み込むユーザー情報の CSV ファイルの所属グループ欄に、新しいグループ名が設定されている場合は、新たなグループとして、グループ情報に追加されます。

▶ ユーザー情報の書き出し

1. システム管理者としてログインする
 2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
 3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
 4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
 5. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
 6. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
 7. [ユーザー一覧の書き出し (CSV ファイル)] をクリックする
「 CSV ファイル形式への書き出し 」画面が表示されます。
 8. ファイル名をクリックする
 - ・ [user.csv] をクリックすると、ユーザー情報が書き出されます
 - ・ [group.csv] をクリックすると、グループ情報が書き出されます。
 9. CSV ファイルの保存先を指定する
- < ! > サイボウズ Office シリーズから書き出したユーザー／グループ情報の CSV ファイルは、そのまま読み込む事はできません。デジエでは、サイボウズ Office シリーズにはない「ログイン名」の機能が存在するため、CSV ファイル上の項目の並びが異なります。サイボウズ Office シリーズのユーザー情報の CSV ファイルを読み込む場合は、項目の並びを変更してください。
- < ! > サイボウズ Office シリーズから書き出したユーザー／グループ情報の CSV ファイルを読み込んだ場合、ログインパスワードは引き継がれません。

■ ユーザーのパスワード変更許可の設定

各ユーザー自身によるログインパスワードの変更を許可するかどうかを一括で設定することができます。初期値では、パスワード変更を許可する設定になっています。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ユーザーの設定] をクリックする
「ユーザーの設定」画面が表示されます。
6.  あるいは  を押す

ユーザー情報連携の設定

サイボウズ Office シリーズ（サイボウズ Office 6 / サイボウズ AG / サイボウズ Office 4）のユーザー情報と デヂエ を連携させることで、効率よくユーザー管理を行うことができます。

サイボウズ Office シリーズを利用されているユーザー様と、デヂエ を利用されるユーザーが同じ場合は、ぜひ連携機能をご活用ください。

- ※ ユーザー情報を連携すると、デヂエ では、サイボウズ Office シリーズのユーザー情報を参照するようになります。そのため、デヂエ 側でのユーザー登録を行う必要はありません。
- ※ サイボウズ Office シリーズ側でユーザー情報を変更すると、デヂエ にも反映されます。
- ※ サイボウズ Office シリーズと デヂエ を別サーバーで運用している場合は、連携することはできません。ユーザー情報を連携して利用したい場合は、必ず同じサーバーにインストールしてください。



ONE
POINT

（ 連携の設定前に、必ずお読みください！！ ）

サイボウズ Office シリーズとのユーザー情報連携の設定を変更すると、使用するユーザー情報のディレクトリが切り替わります。その結果、特定のユーザー および グループに対して設定されていた「アクセス権」「メール通知（通知条件のみ残ります）」等の設定が無効になり、再度設定が必要となります。

なお、アクセス権に関しては、連携の設定を変更する際に各ライブラリのアクセス権の設定状況を CSV ファイルに書き出すことができます。あらかじめアクセス権を設定する際に、ぜひご活用ください。

▶ 以下の設定を変更した場合に、アクセス権・メール通知の設定が無効になります

- ・「ユーザー情報を連携しない」「サイボウズ(R) Office 4 とユーザー情報を連携する。」「サイボウズ(R) AG / Office 6 とユーザー情報を連携する。」のラジオボタンの設定を切り替えたとき
- ・連携時に指定する「サイボウズ(R) Office シリーズがインストールされているディレクトリ」の設定を変更したとき

▶ 連携の設定を変更した場合、以下のアクセス権が無効になります



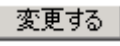
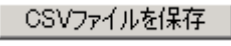
- ・ ライブラリに対するアクセス権
- ・ フィールドに対するアクセス権
- ・ 絞り込みに対するアクセス権
- ・ レコード一覧ビューに対するアクセス権
- ・ フィールドレイアウトに対するアクセス権
- ・ フォルダに対するアクセス権
- ・ 高度な機能に対するアクセス権
- ・ メール通知の設定（通知条件のみ残ります）
- ・ メール読み込み設定の受信許可リストのメールアドレス（ユーザーリストから追加したアドレスのみ削除されます）
- ・ ライブラリ及びフォルダ運用権
- ・ デフォルトビューの設定
- ・ サポート登録者の設定

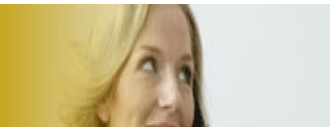
〈！〉システム管理者 および ライブラリ管理者について、特定のユーザー および グループのみ（[全員] [全登録ユーザー] [ログイン前ユーザー] 以外）に設定していた場合、[全員] にリセットされます。再度設定を行ってください。

※ 連携先のサイボウズ Office シリーズのインストール先を、ドライブ移行などで変更された場合は、デジエ側の設定をあらかじめ

で行う必要があります。自動で参照ディレクトリが変更される仕様にはなっていません。また、この場合も連携の設定を変更することになるため、アクセス権、メール通知等の設定を再設定してください。

■ 連携の設定手順

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [サイボウズ(R) Office シリーズとのユーザー情報連携の設定] をクリックする
「サイボウズ(R) Office シリーズとのユーザー情報連携の設定」画面が表示されます。
6. ご希望の連携方法をチェックし、「サイボウズ(R) Office シリーズがインストールされているディレクトリ」欄にディレクトリを入力する
 - サイボウズ Office 4 と連携する場合
「サイボウズ(R) Office 4 とユーザー情報を連携する。」を選択する
 - サイボウズ Office 6 あるいは サイボウズ AG と連携する場合
「サイボウズ(R) AG / Office 6 とユーザー情報を連携する。」を選択する
 - ユーザー情報の連携を解除する場合
「ユーザー情報を連携しない。」を選択する
7.  を押す
確認画面が表示されます。
8.  を押す
変更前に設定されているアクセス権を CSV ファイルに保存します。
9. CSV ファイルの保存場所を選択する



10. **設定を変更する** を押す

「システム設定メニュー」画面に戻ります。

※ ユーザー情報連携の設定を変更した後は、書き出した CSV ファイルをご参照の上、各アクセス権の設定を再度行なってください。

※ サイボウズ Office シリーズとユーザー情報の連携を設定した場合、「ユーザーの設定」「グループの設定」および「ログイン方法の設定」は、サイボウズ Office シリーズのシステム設定から行ってください。

ONE POINT

《サイボウズ Office 6 へバージョンアップされる方へ》

ご利用中のバージョンによって、ユーザー情報連携の設定を変更していただく必要があります。

▶サイボウズ AG ⇒ サイボウズ Office 6 のバージョンアップ

ユーザー情報は引き継がれます。設定を変更する必要はありません。

サイボウズ AG をご利用のユーザーで、デヂエにてユーザー情報の連携の設定をしている場合、連携の設定は保持されたままとなり、特に設定変更を行う必要はありません

▶サイボウズ Office 4 ⇒ サイボウズ Office 6 のバージョンアップ

ユーザー情報は引き継がれません。再設定が必要です。

サイボウズ Office 4 をご利用のユーザーで、デヂエにてユーザー情報の連携の設定をしている場合、ユーザー情報は引き継がれません。サイボウズ Office 6 とユーザー情報を連携させるには、デヂエでユーザー情報の連携の設定を再度行う必要があります。

〈!〉連携の設定を変更すると、デヂエのアクセス権やメール通知等の設定がクリアされます。

設定を変更する前に、設定内容を CSV ファイルに書き出すことをお勧めします。



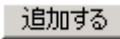
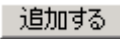
グループの設定

グループを作成すると、効率よくユーザーの管理を行えます。



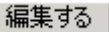
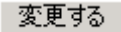
様々な設定をグループごとに行うことも可能です。また、グループ情報は、CSV ファイルから読み込んでの登録、あるいは書き出すこともできます。

〈!〉 サイボウズ Office シリーズのユーザー情報と連携している場合は、デヂエ での登録および設定を行うことはできません。連携先での設定をお願いします。

■ グループの追加







1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [グループの設定] をクリックする
「グループの設定」画面が表示されます。
6.  を押す
「グループの追加」画面が表示されます。
7. 追加するグループの名前を入力する（※ 必須項目です）
※ グループ名は重複しても構いませんが、別グループとして認識されます。
※ 最大 100 文字まで（大文字と小文字を区別）設定可能です。
8.  を押す
「グループの設定」画面に戻ります。
※ 新規に登録されたグループは「グループ一覧リスト」の末尾に追加されます。

■ グループの編集

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [グループの設定] をクリックする
「グループの設定」画面が表示されます。
6. グループ情報を編集したいグループ名を選択して反転表示させ、 を押す
「グループ名の編集」画面が表示されます。
7. グループ名を編集する（※ 必須項目です）
※ グループ名は重複しても構いませんが、別グループとして認識されます。
※ 最大 100 文字まで（大文字と小文字を区別）設定可能です。
8.  を押す
「グループの設定」画面に戻ります。

■ グループの表示順を変更する

ここで設定された順番は、グループをプルダウンメニューから選択するとき、（例えばログイン時のユーザー選択や、アクセス権を設定するとき）などに反映されます。



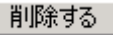

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [グループの設定] をクリックする
「グループの設定」画面が表示されます。
6. リストから順番を変更したいユーザーを選択して反転表示させ、  を押し、選択したユーザー一名を上下に移動させて、順番を変更します。
※   を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

■ グループを削除する

グループを削除すると、各ユーザーのグループ情報も削除されます。




▶ 削除する

グループをひとつずつ削除します。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [グループの設定] をクリックする
「グループの設定」画面が表示されます。
6. 削除したいグループを選択して反転表示させ、 を押す
「グループの削除」画面が表示されます。
7.  を押す
「グループの設定」画面に戻ります。

■ 一括削除

登録されているグループを、一括で削除します。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [グループの設定] をクリックする
「グループの設定」画面が表示されます。
6. [グループの一括削除] をクリックする
「グループの一括削除」画面が表示されます。
7.  を押す
「グループの設定」画面に戻ります。






ライブラリの運用管理

「**ライブラリ運用管理**」では、システム管理者が利用中の**ライブラリ情報の確認や運用状況の管理**などを行うことができます。

以下の設定を確認・変更できます。





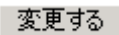
- ライブラリ ID の確認
- ライブラリ名と詳細の変更
- ライブラリ管理者の設定・変更
- 作成者の確認
- 最終更新日時の確認
- レコード数の確認
- 本運用/仮運用の運用切替え



■ ライブラリ名と詳細の変更

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューに 「 ライブラリ運用管理 / ライセンス 」 が選択されていることを確認し、[ライブラリ運用管理] をクリックする
「ライブラリ運用管理」画面が表示されます。
5. 「ライブラリ名」の [詳細] をクリックする
「ライブラリ基本情報の設定」画面が表示されます。
6. [変更する] をクリックし、設定を変更する
※ 「ライブラリ基本情報の設定」画面は、「ライブラリ管理メニュー」画面右の「ライブラリ基本情報」の  [変更する] をクリックしても表示されます。
※ デヂエ にログインしていない場合は、[変更する] は表示されません。必ずログインしてから操作してください。

■ ライブラリ管理者の設定・変更




ライブラリごとにライブラリ管理者を設定できます。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
 「システム設定メニュー」画面が表示されます。
 ※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューに 「 ライブラリ運用管理 / ライセンス 」 が選択されていることを確認し、[ライブラリ運用管理] をクリックする
 「ライブラリ運用管理」画面が表示されます。
5. ライブラリ管理者を設定したいライブラリの 「 ライブラリ管理者 」 欄の [変更] をクリックする
 「ライブラリ管理者の設定」画面が表示されます。
6. プルダウンメニューから、ライブラリ管理者に設定したいユーザーが所属するグループを選択する
7. ライブラリ管理者に設定したいユーザーを選択し、反転表示させ、  を押す
8.  を押す


| | |
|---|---|
|  | <p>▶ライブラリ管理者とは</p> <p>システム管理者によってライブラリごとに設定され、各ライブラリの構築・管理などを行う人を指します。</p> <p>※ライブラリ管理者に設定されたユーザーでログインすると、各画面の右下に  [<u>ライブラリ管理</u>] が表示されます。</p> <p>※ライブラリ作成直後は、ライブラリ管理者は全員となっています。</p> <p>※ライブラリ管理者の設定・変更は、ライブラリ管理者自身が 「ライブラリ管理メニュー」画面の [<u>ライブラリ情報の設定</u>] で行うこともできます</p> |
|---|---|

■ 本運用/仮運用の運用切替え

ライブラリごとにライブラリ管理者を設定できます。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
 「システム設定メニュー」画面が表示されます。
 ※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューに 「ライブラリ運用管理 / ライセンス」 が選択されていることを確認し、[ライブラリ運用管理] をクリックする
 「ライブラリ運用管理」画面が表示されます。
5. 切り替えたいライブラリの運用切替 [本運用] [仮運用] をクリックする
6. 確認画面で  を押す

※ 本運用/仮運用の切替えは、「ライブラリ及びフォルダ運用権の設定」で「本運用切替」権限を与えることで、システム管理者以外でも行うことができます。



| | |
|---|---|
|  | <p>▶仮運用/本運用とは</p> <p>ライブラリの運用には 本運用 と 仮運用 があります。</p> <p>対象ライブラリで以下のことを行う場合には、ライブラリを本運用に切り替える必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 個以上のレコードデータを登録するとき ・ 11 レコード以上が登録された DBM ファイル、CSV ファイルを読み込むとき ・ レコードコピー実行時に、コピー先ライブラリのレコード数が 11 レコード以上になるとき ・ ライブラリへのメール読み込み時に、読み込み後のレコード数が 11 レコード以上になるとき <p>仮運用中のライブラリでは [<u>本運用</u>] への変更リンク、本運用中のライブラリでは [<u>仮運用</u>] への変更リンクが表示されます。</p> <p>レコード数が 11 以上の本運用ライブラリは、仮運用に戻すことはできません。</p> |
|---|---|



ライセンスキーの設定

ご購入いただいたライセンスキーを、製品に設定する方法をご案内します。ライセンスキーの設定と同時に、ユーザー登録も行ってください。

ユーザー登録は『インターネット（WWW）』にて行う方法と、『E-mail または FAX』にて行う方法があります。インターネット（WWW）での登録をお勧めいたします。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューに「ライブラリ運用管理 / ライセンス」が選択されていることを確認し、[ライセンスキーの設定] をクリックする
「ライセンスキーの設定画面 -Step1/5」が表示されます。
5. ご希望の設定方法のボタンを選択する

■ 『インターネット（WWW）』にて行う

Step1. [お客様情報の登録を『インターネット(WWW)』で行う] を押す

Step2. 会社などの団体でのご購入の場合は 会社などの団体 を、個人でのご購入の場合は 個人 を押す

Step3. ライセンスキーを入力し、 を押す

※ ライセンスキーとは、ライセンスキー証明書に記載されている、数字と大文字英数字（いずれも半角）からなる 25 桁の文字列です。

Step4. お客様情報を入力し、 を押す

※ お客様番号とは、6 桁の半角数字で、既にサイボウズにユーザー登録されている場合に発行しています。（ライセンスキー証明書に記載してあります）

※ お客様情報は、迅速かつ的確な電子メールサポートを行うため、また、バージョンアップを行う際などに必要となります。ご登録いただいたお客様情報は、お客様の許可無く第三者に公開することは一切ございません。趣旨をご理解のうえ、登録にご協力くださいますようお願い申し上げます。

既に番号をお持ちのお客様は、 もっている をチェックし、番号を入力してください。
まだ番号をお持ちでないお客様は、 まだもっていない をチェックしてください。

- 貴社名（個人の場合は「お名前」）（必須入力項目）
- 部署名（会社 / 団体の場合のみ）※部署内でご使用の場合、ご入力ください。郵便番号（必須入力項目）
- ご住所（必須入力項目）
- 電話番号（必須入力項目）
- FAX 番号
- 購入ご担当名（会社 / 団体の場合のみ）（必須入力項目）
- E-mail
- プロダクト ID（自動的に付与される ID）

Step5. お客様情報を確認し、 を押す

※ サイボウズにデータが送られ、ユーザー登録が完了します。

■ 『 E-mail または FAX 』 にて行う

Step1. [お客様情報の登録を『E-mail または FAX』で行う] を押す

Step2. 会社などの団体でのご購入の場合は 会社などの団体 を、個人でのご購入の場合は 個人 を押す

Step3. ライセンスキーを入力し、 を押す

※ ライセンスキーとは、ライセンスキー証明書に記載されている、数字と大文字英数字（いずれも半角）からなる 25 桁の文字列です。

Step4. お客様情報を入力し、 を押す

※ お客様番号とは、6 桁の半角数字で、既にサイボウズにユーザー登録されている場合に発行しています。（ライセンスキー証明書に記載してあります）

※ お客様情報は、迅速かつ的確な電子メールサポートを行うため、また、バージョンアップを行う際などに必要となります。ご登録いただいたお客様情報は、お客様の許可無く第三者に公開することは一切ございません。趣旨をご理解のうえ、登録にご協力くださいますようお願い申し上げます。

既に番号をお持ちのお客様は、 もっている をチェックし、番号を入力してください。まだ番号をお持ちでないお客様は、 まだもっていない をチェックしてください。

- 貴社名（個人の場合は「お名前」）（必須入力項目）
- 部署名（会社 / 団体の場合のみ）※部署内でご使用の場合、ご入力ください。郵便番号（必須入力項目）
- ご住所（必須入力項目）
- 電話番号（必須入力項目）
- FAX 番号
- 購入ご担当名（会社 / 団体の場合のみ）（必須入力項目）
- E-mail
- プロダクト ID（自動的に付与される ID）

Step5. 間違いがなければ、表示されている内容を dz_reg@cybozu.co.jp 宛てに送るか画面を印刷して 03-5805-9116 に FAX してください。



▶ライセンスキーについて

- < ! > 一度設定されたライセンスキーの再入力、および解除はできません。
- ※ 現在ご使用の本運用ライブラリ数を許容するライセンスキーのみ入力できます。
- ※ 年間ライセンスの入力は、有効期限が終了する 60 日前から可能になります。更新時期が来るまではプラン変更ライセンスのみ入力できます。
- ※ 既に年間ライセンスでご使用の場合のみ、継続年間ライセンスキーを入力できます。




ライセンスキーの登録状況

デジエ のライセンスキーの登録状況を確認することができます。


以下の設定を確認できます。

- ライセンスプラン、ライセンス期限
- ご利用開始日時
- ライセンス登録日時
- 購入しているライセンスプラン
- 度数の増減（度数ライセンスの場合）
- 残り度数（度数ライセンスの場合）
- シリアル番号
- 備考（年間ライセンスの有効期限）

1. システム管理者としてログインする

2. 画面右下の  [システム設定] を押す

「システム設定メニュー」画面が表示されます。

※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する

4. 左のメニューに「ライブラリ運用管理 / ライセンス」が選択されていることを確認し、[ライセンスキーの登録状況] をクリックする

「ライセンスキーの登録状況」画面が表示されます。

画面上部には、以下が表示されます。

➤ 年間ライセンスの場合：現在のライセンスプランと、有効期限

※ デジエのライセンスで運用している方が対象

➤ 度数ライセンスの場合：現在の度数残高

※ DB メーカーのライセンスで運用している方が対象



▶ **これまでの購入履歴・引き落とし履歴**

- ・ ご利用開始日
- ・ ライセンスキー登録履歴
- ・ 購入プラン
- ・ 度数の増減（度数ライセンスの場合）
- ・ 残り度数（度数ライセンスの場合）

▶ **今後の引き落とし予定（度数ライセンスでのみ画面中段に表示）**

- ・ 「次回引き落とし予定度数（ならびに本運用ライブラリの最大個数）と引き落とし予定時期」

あるいは

- 「次々回引き落とし予定度数（ならびに現時点での本運用ライブラリの最大個数）と引き落とし予定時期」

が表示されます。

※ 引き落とし予定時期には、毎月 1 回以上アクセスされることを前提にした引き落とし予定月が表示されます。



▶ **ライセンス登録に関する警告の表示**

ライセンスの期限が迫ると、以下のタイミングで画面上に警告が表示されます。

| 有効期限まで | 表示されるユーザー |
|--------------|-----------|
| 60 日前～ 30 日前 | システム管理者 |
| 30 日前～期限当日 | システム管理者 |
| 有効期限後 | 全利用ユーザー |

警告が表示されましたら、できるだけ早くライセンスをご購入ください。ライセンスの購入は、

[d. cybozu. co. jp](http://d.cybozu.co.jp) で行えます。



※ 試用中の場合、有効期限の 30 日前から、全利用ユーザーにも警告が表示されます。



システム管理


ライブラリ及びフォルダ運用権の設定


システム管理者は、ユーザー / グループにライブラリ及びフォルダの作成権を設定することができます。また、ライブラリを本運用へ切り替える権限を、システム管理者以外のユーザー / グループに委譲できます。

※ ライブラリ及びフォルダの作成権限がないユーザーは、ホーム画面で  [フォルダの追加]、 [ライブラリの追加] のリンクは表示されません。

※ ライブラリ作成権限のあるユーザーのみ、 テンプレートフォルダ を参照できます。

1. システム管理者としてログインする

2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。

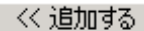
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する

4. 左のメニューから [システム運用管理] をクリックする
「システム運用管理」画面が表示されます。

5. [ライブラリ及びフォルダ運用権の設定] をクリックする
「ライブラリ及びフォルダ運用権の設定」画面が表示されます。

6. 運用権限を与えたいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、リストにグループメンバーを表示させる

7. 作成権限を与えたいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、 追加する を押す

追加されたユーザー あるいは グループには、初期値でフォルダ、ライブラリの作成権限が与えられています。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

8. [編集する] をクリックする

9. ユーザー あるいは グループに与えたい権限にチェックを入れる



10. **反映する** を押す

設定が反映されます。

11. さらに設定したいユーザー あるいは グループがある場合は、「5.」 から 「9.」 の手順を繰り返す

※ 初期値は、ログイン前ユーザーを含めた全員がライブラリとフォルダを作成でき、全員が本運用への切り替え権限がない設定になっています。



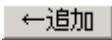
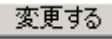
※ 本運用への切り替えは、ライブラリ運用管理 画面、ライブラリの情報 画面で行えます。また、11 レコード以上を登録しようとしたタイミングでも切り替えることができます。



フォルダのアクセス権の設定

ユーザーごとに、フォルダのアクセス権を設定することができます。

フォルダに対するアクセス権がなければ、そのフォルダに格納されているライブラリそのものを閲覧することができません。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [システム運用管理] をクリックする
「システム運用管理」画面が表示されます。
5. [フォルダのアクセス権の設定] をクリックする
「フォルダのアクセス権の設定」画面が表示されます。
6. アクセス権を設定したいフォルダの [変更] をクリックする
7. 利用可能にしたいユーザー / グループを選択し、グループ名 および グループに所属するユーザーをリストに表示させる
8. リストから、利用可能にしたいユーザー / グループを選択し、  を押す
9.  を押す
「フォルダのアクセス権の設定」画面に戻ります。

※ 初期値は全員が利用可能となっています。



〈!〉アクセス権を設定したフォルダの中にさらにフォルダが存在する場合（以下、サブフォルダとします）、フォルダに設定されたアクセス権はサブフォルダにも適用されます。サブフォルダを移動した場合は、移動先のフォルダのアクセス権が適用されます。

※ アクセス権限のないフォルダへの移動は行えません。

ログイン方法の設定

デチエ にログインする方法として、以下の 3 通りあります。運用内容にあったログイン方法を選択してください。

| | |
|---|---|
| <p>▶ ユーザー名で選ぶ</p> <p>少人数で利用される場合に適当です。プルダウンメニューから、ユーザー登録されているユーザー名を選択し、ログインします。</p> | <p>名前 <input type="text" value="(あなたのお名前)"/></p> <p>パスワード <input type="password"/></p> <p><input type="button" value="ログイン"/></p> |
| <p>▶ グループ名とユーザー名で選ぶ</p> <p>登録ユーザー数が 100 を越える大規模な組織の場合に適当です。メニューに表示されるユーザーが絞られるため、ユーザーが容易に選択できます。</p> | <p>グループ <input type="text" value="営業部"/> [切り替え]</p> <p>名前 <input type="text" value="(あなたのお名前)"/></p> <p>パスワード <input type="password"/></p> <p><input type="button" value="ログイン"/></p> |
| <p>▶ ログイン名を入力する</p> <p>インターネット上での使用を想定されている場合に適当です。プルダウンメニューからではなく、キーボードからログイン名を入力してログインします。</p> | <p>ログイン名 <input type="text"/></p> <p>パスワード <input type="password"/></p> <p><input type="button" value="ログイン"/></p> |

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
 「システム設定メニュー」画面が表示されます。
 ※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
 「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [ログイン方法の設定] をクリックする
 「ログイン方法の設定」画面が表示されます。

6. ログイン方法を選択する

いずれかのラジオボタンに チェックを入れてください。

7. **変更する**

「システム設定メニュー」に戻ります。

※ 一度ログインしてログアウトすると、次回のログインでは前回のユーザー名を記憶しています。パスワードを入力すればすぐにログインできます。

〈!〉ユーザー情報を「サイボウズ(R) Office シリーズ」と連携している場合、「サイボウズ(R) Office シリーズ」のログイン方法が継承されます。その場合は、「サイボウズ(R) Office シリーズ」の[システム設定]からログイン方法の設定を行ってください。



サイボウズ共通認証の設定

サイボウズ共通認証を有効にすると、サイボウズ Office 6 または、サイボウズ ガルーン にログインしたユーザーは、サイボウズ デヂエでのログインを省略できるようになります。

サイボウズ Office 6 または、サイボウズ ガルーン を デヂエ と併せて利用されている場合は、ぜひご活用ください。

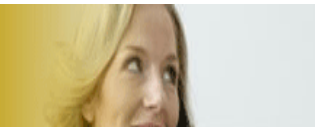
- 〈！〉 認証するユーザーの識別は、各製品のログイン名を利用しております。
共通認証を利用する製品間では、ユーザーのログイン名を同一のものに設定してください。各ユーザーのログイン名が共通認証を利用する製品間で同一でない場合、共通認証ができない、または異なるユーザーに対して認証が行われてしまう、等の可能性があります
ログイン名を設定していないユーザーは、共通認証を利用できません。
設定前に、認証対象の製品のシステム管理者と十分な確認を行った上で、ご利用ください。
- 〈！〉 「サイボウズ共通認証」では、Web ブラウザの Cookie に認証情報を書き込みます。このため、「サイボウズ Office 6」(「サイボウズ ガルーン」)のサーバーおよび「デヂエ」のサーバーが、FQDN (完全修飾ドメイン名) で名前解決できる環境である必要があります。お使いのサーバーを FQDN で名前解決できる環境にするには、ネットワーク管理者、またはネットワーク構築業者にご相談ください。

「サイボウズ共通認証」を利用するには、「デヂエ」での設定のほか、「サイボウズ Office 6」(「サイボウズ ガルーン」)側での設定も必要になります。「サイボウズ Office 6」での設定については、「サイボウズ Office 6」のサイボウズ共通認証設定マニュアルをご確認ください。

「サイボウズ共通認証」は、以下のバージョンで対応しています。

- ・サイボウズ Office 6.1 (1.0) 以上
- ・サイボウズ ガルーン 1.5 (2.1) 以上
- ・サイボウズ デヂエ 5.0 (0.1) 以上

- 〈！〉 共通認証を利用している製品でログインしている間は デヂエ をログアウトすることができません。デヂエ をログアウトする際は、共通認証を利用している製品を先にログアウトしてください。または、立ち上がっているすべてのブラウザを閉じてください。
サイボウズ共通認証を利用している場合のログアウト方法の詳細は、「Office 6」または「ガルーン」と共通認証の設定を行っている場合、共通認証を行っている製品からログアウトしていない状態では「デヂエ」から ログアウトすることができません。



〈!〉サイボウズ共通認証を利用中に「デヂエ」からログアウトする場合は、以下のどちらかの手順で行ってください。

・起動しているブラウザを全て閉じる

全てのブラウザを閉じることで、「Office 6」又は「ガルーン」及び「デヂエ」からログアウトが可能です。

・以下の順序でログアウトする

1. 「Office 6」又は「ガルーン」からログアウトする
2. 「デヂエ」からログアウトする





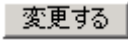
▶他のサイボウズ製品（Office6 / ガルーン）と共通認証が可能となる条件

以下の条件を満たしている、他のサイボウズ製品（Office6 / ガルーン）と共通認証が可能となります。

- ・デヂエ側で、サイボウズ共通認証の設定が有効になっている
- ・共通認証を利用する製品側で、サイボウズ共通認証の設定が有効になっている
- ・サイボウズ共通認証を利用する製品「サイボウズ Office 6」（「サイボウズ ガルーン」）で設定されている Cookie 発行範囲ドメイン/パスに、「サイボウズ デヂエ」をインストールしたサーバーが設置されている
- ・共通認証を利用する製品で、サイボウズ共通認証用パスワードが設定されている
- ・デヂエで、サイボウズ共通認証用パスワードが設定されている
- ・共通認証を利用する製品「サイボウズ Office 6」（「サイボウズ ガルーン」）とデヂエとで、サイボウズ共通認証用パスワードが一致している
- ・「サイボウズ Office 6」（「サイボウズ ガルーン」）のサーバーおよび「デヂエ」のサーバーが、FQDN（完全修飾ドメイン名）で名前解決できる環境である
- ・共通認証を利用する製品「サイボウズ Office 6」（「サイボウズ ガルーン」）とデヂエ側のユーザー設定で、「ログイン名」が一致している

〈!〉各ユーザーのログイン名が共通認証を利用する製品間で共通でない場合、共通認証ができない、または異なるユーザーに対して認証が行われてしまう、等の問題が起こることがあります。

■ サイボウズ共通認証の設定

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
「ユーザー管理」画面が表示されます。
5. [サイボウズ共通認証] をクリックする
「サイボウズ共通認証の設定」画面が表示されます。
6. サイボウズ共通認証を有効にするにチェックを入れる
7. 半角英数文字で共通認証パスワードを登録する（確認用にも入力）
※ 期間はデフォルトで 1 年前 の日付に設定されています。
※ はじめは、設定用パスワードの登録の有無を問わず、「*****」が表示されています。これを削除の上、登録してください。
※ 共通認証パスワードは、半角英数 64 文字まで入力可能です。
※ ここで設定するパスワードは、共通認証先の製品の共通認証パスワードと同じものを入力します。
8.  を押す
「ユーザー管理」画面に戻ります。



サイボウズ共通認証の詳細

「サイボウズ デヂエ 5.0」より、「サイボウズ Office 6」および、「サイボウズ ガルーン」のログイン情報を共有する「サイボウズ共通認証」機能が追加されました。その動作と設定方法について説明します。

■ サイボウズ共通認証の動作概要・使用条件

サイボウズ共通認証の動作概要

▶ **Cookie を利用して、ログイン処理を行います。**

1. 「Office 6」もしくは「ガルーン」にログインすると、サイボウズ共通認証用の Cookie を発行します。
2. 「デヂエ 5.0」にアクセスすると、1. で発行されている共通認証用の Cookie 情報により、「デヂエ 5.0」にログインしている状態になります。

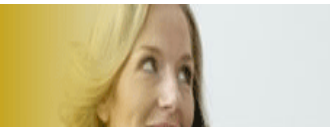
サイボウズ共通認証の使用条件

- ▶ 「サイボウズ デヂエ」のバージョンは、5.0 (0.1) 以上 が必要です。
- ▶ 「サイボウズ Office 6」のバージョンは、6.1 (1.0) 以上 が必要です。
- ▶ 「サイボウズ ガルーン」のバージョンは、1.5 (2.1) 以上 が必要です。

! 「Office 6」、「ガルーン」、「デヂエ 5.0」のアクセスに、FQDN を使ってアクセスできることが必要です。また、各クライアントから「Office 6」、「ガルーン」、「デヂエ 5.0」へアクセスする際、FQDN を使った URL でアクセスする必要があります。

FQDN でアクセスできない環境である場合には、DNS への登録を行うなどの対応をお願いいたします。

! サイボウズ共通認証を使ってログインするユーザーには、同じログイン名が設定されている必要があります。



設定

「Office 6」、「ガルーン」共に以下の設定を行う必要があります。

- ▶ 「共通認証用の Cookie」を発行する設定


「Office 6」、「ガルーン」、「デヂエ 5.0」共に以下の設定を行う必要があります。

- ▶ 同じログイン名を持ったユーザーの設定
- ▶ 「共通認証の使用」を有効にする設定
- ▶ 「共通認証の使用」のためのパスワード

! 「Office 6」、「ガルーン」、「デヂエ 5.0」のアクセスに、FQDN を使ってアクセスできることが必要です。また、各クライアントから「Office 6」、「ガルーン」、「デヂエ 5.0」へアクセスする際、FQDN を使った URL でアクセスする必要があります。

FQDN でアクセスできない環境である場合には、DNS への登録を行うなどの対応をお願いいたします。

! サイボウズ共通認証を使ってログインするユーザーには、同じログイン名が設定されている必要があります。

| | |
|---|--|
|  | <p>▶ ログイン名とは</p> <p>ユーザーの設定にて登録する、ユーザー情報の1つです。サイボウズ共通認証を利用する際は、「Office 6」及び「ガルーン」、「デヂエ 5.0」にて、同一のログイン名を登録してください。</p> <p>「Office 6」と、ユーザー情報連携を行っている場合は、「Office 6」側でのみログイン名を設定してください。</p> <p>重複したログイン名を登録することは出来ません。</p> <p>「デヂエ 5.0」のユーザーの設定は、6ページをご覧ください。</p> <p>「Office 6」のユーザーの設定は、[システム設定] > [ユーザー] > [ユーザーの設定]で行うことができます。</p> |
|---|--|



「デチエ 5.0」 ユーザー登録内容の変更画面

サイボウズ デチエ

●ユーザーの登録内容の変更

変更するユーザーの情報を入力してください

名前 (必須) 例)山田太郎
 ログイン名 例)yamada
 E-mail
 パスワード
 パスワード (確認用)

所属するグループ

所属しないグループ

← 追加
 削除 →

変更する キャンセルする

▶ FQDN (完全修飾ドメイン) とは

インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワーク上で、あるホストやドメインを指定する場合に、ドメイン名部分の文字列を省略せずにすべて記述する表記方法のことをいいます。

TCP/IP におけるホスト名やドメイン名の表記方法が、「www.cybozu.co.jp」という文字列ならば、「cybozu.co.jp」がドメイン名を表し、「www」はそのドメイン名の中にあるホスト名（もしくはサブドメイン名）を表します。

この場合、「www.cybozu.co.jp」は FQDN になりますが、「cybozu.co.jp」はホスト名が省略されているので FQDN ではありません。

▶ DNS (ネームサーバー) とは

「DNS サーバ」「ドメインネームサーバ」とも呼ばれます。

インターネット上でのコンピュータの名前にあたるドメイン名を、住所にあたる IP アドレスと呼ばれる 4 つの数字の列に変換するサーバーのことを言います。

個々のネームサーバは自分が管理するネットワークに接続されたコンピュータのドメイン名と IP アドレスの対応表を持っており、外部からの問い合わせに答えます。

■ 「Office 6」 と 「デチエ 5.0」 で共通認証を利用する場合の設定

〈!〉 「サイボウズ Office 6」 のバージョンは、6.1（1.0）以上 が必要です。

以下 URL で「Office 6」、「デチエ 5.0」 にアクセスする場合で説明します。

「Office 6」 へのアクセス URL <http://office6.domain.co.jp/scripts/cb6/ag.exe?>

「デチエ 5.0」 へのアクセス URL <http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe?>

1. 「Office 6」 で設定を行う
 - 1.) システム設定メニュー画面を表示する
 - 2.) 「詳細設定」 タブをクリックする
 - 3.) 「運用管理」 にある、「サイボウズ共通認証」 をクリックする
 → 「サイボウズ共通認証」 の設定画面が表示されます。

「サイボウズ共通認証」 設定画面

トップページ > システム設定(詳細) > サイボウズ共通認証

サイボウズ共通認証

Cookie 発行範囲内で共通認証パスワードの一致する製品とのみ共通認証が利用できます。

認証するユーザーの識別は、各製品のログイン名を利用しております。
 共通認証を利用する製品間では、ユーザーのログイン名を同一のものに設定してください。
 ログイン名を設定していないユーザーは、共通認証を利用できません。

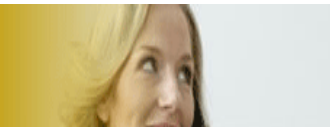
ログイン名については、[ユーザー](#) で設定してください。

各ユーザーのログイン名が共通認証を利用する製品間で同一でない場合、共通認証ができない、または異なるユーザーに対して認証が行われてしまう、等の危険があります。

設定前に、認証対象の製品のシステム管理者と十分な確認を行った上で、ご利用ください。

| | |
|-------------|--|
| 有効 | <input checked="" type="checkbox"/> サイボウズ 共通認証を有効にする |
| 共通認証パスワード* | <input type="password" value="●●●●●●●●"/> |
| 共通認証パスワード* | <input type="password" value="●●●●●●●●"/> (確認用) |
| 有効時間 | 10分 <input type="button" value="▼"/> |
| Cookie 発行範囲 | domain=; path=/; 例) domain=.xxx.cybozu.co.jp; path=/; |

この画面で、共通認証を利用するための設定 と 「サイボウズ共通認証の情報」を持つ Cookie の発行条件の設定 を行います。



共通認証を利用するための設定

- ▶ 「サイボウズ共通認証を有効にする」のチェックを有効にします
- ▶ 共通認証パスワードを入力します

！ 共通認証パスワードとは、「サイボウズ共通認証」を利用するために必要なパスワードです。ここで設定したパスワードと同じパスワードを「デジエ 5.0」の「サイボウズ共通認証の設定」で設定する必要があります。


「サイボウズ共通認証の情報」を持つ Cookie の発行条件 の設定

▶ 有効時間

「サイボウズ共通認証の情報」を持つ Cookie が有効である時間を設定します。「Office 6」にログインしたとき等に、Cookie が発行されますが、ここで設定した時間を過ぎると「サイボウズ共通認証の情報」を持つ Cookie は無効になります。この状態で、「デジエ 5.0」にアクセスすると、「サイボウズ共通認証」を利用できないため、ログイン操作を行う必要があります。

▶ Cookie 発行範囲

「どの URL にアクセスした場合に、「サイボウズ共通認証の情報」を持つ Cookie を発行するか」を設定します。発行する条件として、「domain」と「path」の設定が必要になります。「domain」と「path」については、次の ONE POINT を参照してください。

| | | | | |
|---|--|----------------------|---------------|---------|
|  | ▶ Cookie における domain 指定と path 指定について | | | |
| | http:// | office6.domain.co.jp | /scripts/cb6/ | ag.exe? |
| | | domain | path | |
| | 「 domain 」はアクセスする URL のサーバーを指定する部分、「 path 」は、アクセスする URL のサーバー内のパスを指定する部分となります。 | | | |

「サイボウズ共通認証」を有効にするには、「Office 6」でも「デヂエ 5.0」でも Cookie を発行できるように設定します。この説明での、アクセス URL 例は以下となっています。

| | | domain | path | |
|----------------------|---------|----------------------|----------------|---------|
| 「Office 6」へのアクセス URL | http:// | office6.domain.co.jp | /scripts/cb6/ | ag.exe? |
| 「デヂエ 5.0」へのアクセス URL | http:// | dezie.domain.co.jp | /scripts/cbdb/ | db.exe? |

ここで、「Office 6」でも「デヂエ 5.0」でも Cookie を発行できるようにするには、それぞれのアクセス URL における「domain」、「path」の共通部分を設定します。

共通部分を、**青太字** で表示しています。

| | | domain | path | |
|----------------------|---------|------------------------------|------------------------|---------|
| 「Office 6」へのアクセス URL | http:// | office6. domain.co.jp | /scripts/ cb6/ | ag.exe? |
| 「デヂエ 5.0」へのアクセス URL | http:// | dezie. domain.co.jp | /scripts/ cbdb/ | db.exe? |

以上のことから、この例で「Office 6」と「デヂエ 5.0」の共通認証を利用するには、以下の設定となります。この値を「Office 6」での設定画面の Cookie の発行範囲に入力します。

例) domain=.domain.co.jp;path=/scripts/ ;

設定の書式は、「domain= ;path=× ×;」となります。

! domain を設定する時の注意

「domain」に設定する値には2つ以上のピリオドを含んでいなければいけません。また、なるべく発行の範囲を限定するように設定します。これは、ログイン情報を持つ Cookie の発行をなるべく狭い範囲で行うことで、ログイン情報を容易に取得できないようにするためです。

ここでの例で説明すると、以下のようになります。

| domain の設定値 | 有効/無効 |
|--------------|-------|
| domain.co.jp | |
| .co.jp | |
| .jp | × |

COM、NET、ORG、BIZ、INFO などのトップレベルドメインであれば、1つのピリオドでも有効です。



！ path を設定する時の注意

「path」に設定する値は、なるべく発行の範囲を限定するように設定します。これは、ログイン情報を持つ Cookie の発行をなるべく狭い範囲で行うことで、ログイン情報を容易に取得できないようにするためです。

ここでの例で説明すると、以下のようになります。

| path の設定値 | 有効/無効 |
|-----------|-------|
| /scripts/ | |
| / | |

「/scripts/」、「/」のどちらでも、認証は有効になります。ただし、「/」のみ設定した場合、「domain」に設定した値でアクセスした場合には、必ず Cookie が発行されてしまうため、なるべくパスが限定されるような設定にしてください。

2. 「デヂエ 5.0」で設定を行う

1.) 「システム設定メニュー」画面を表示する

2.) 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする

3.) [サイボウズ共通認証] をクリックする

「サイボウズ共通認証の設定」画面が表示されます。

4.) 「サイボウズ共通認証の設定」画面で、以下の設定を行う

- ・「サイボウズ共通認証を有効にする」のチェックを有効にする
- ・「Office 6」の「サイボウズ共通認証設定」画面で設定した共通認証パスワードを入力する

3. アクセスして確認する

実際にアクセスして、サイボウズ共通認証の設定が有効になっているか確認します。

1.) すべてのブラウザを閉じる

2.) 「Office 6」にログインする

3.) 「デヂエ 5.0」にアクセスする

「デヂエ 5.0」にログインしている状態になっている

！ 「デヂエ 5.0」 にログインできていない場合、以下の原因が考えられます。

▶ **同じログイン名を持つユーザーでログインしていない**

サイボウズ共通認証を行う「Office 6」と「デヂエ 5.0」に、「同じログイン名が設定されているユーザー」が登録されていて、そのユーザーでログインしなければ、共通認証は動作しません。「Office 6」、「デヂエ 5.0」それぞれのユーザーの設定を確認してください。

「デヂエ 5.0」で、共通認証を行う「Office 6」に対して「ユーザー情報の連携」を有効にしている場合は、「Office 6」に登録されているユーザーのログイン名を設定するだけで、「デヂエ 5.0」にも同じログイン名を持つユーザーが存在することになります。

▶ **「サイボウズ共通認証」の設定内容に誤りがある**

以下について確認してください

- ・「Office 6」の「サイボウズ共通認証の設定」で、Cookie の発行範囲が正しく設定されているか
設定内容を再度確認してください。
- ・両方の設定で「サイボウズ共通認証を有効にする」が未チェックになっていないか
- ・両方の設定で同じ「共通認証パスワード」を設定しているか

▶ **FQDN を含む URL で、「Office 6」、「デヂエ 5.0」にアクセスしていない**

「Office 6」、「デヂエ 5.0」にアクセスする URL が、マシン名であったり、IP アドレスであった場合、「サイボウズ共通認証」は動作しません。

| | | |
|---|--|---------------|
| | http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe? | FQDN でのアクセス |
| × | http://dezie/scripts/cbdb/db.exe? | ホスト名のみでのアクセス |
| × | http://10.0.1.100/scripts/cbdb/db.exe? | IP アドレスでのアクセス |

FQDN でアクセスできない環境である場合には、DNS への登録を行うなどの対応をお願いいたします。



■ 「ガルーン」と「デチエ 5.0」で共通認証を利用する場合の設定

〈!〉 「サイボウズ ガルーン」のバージョンは、1.5（2.1）以上が必要です。

以下 URL で「ガルーン」、「デチエ 5.0」にアクセスする場合で説明します。

「ガルーン」へのアクセス URL

http:// garoon.otherdomain. co. jp /cgi-bin/cbgr/ag. cgi?

「デチエ 5.0」へのアクセス URL

http://dezie. domain. co. jp/scripts/cbdb/db. exe?

1. 「ガルーン」で設定を行う

- 1.) システム設定メニュー画面を表示する
- 2.) 「初期設定」タブをクリックする
- 3.) 「シングルサインオンの設定」をクリックする
→ シングルサインオン設定の編集画面が表示されます。

「シングルサインオンの設定」 設定画面

トップページ > システム設定 > シングルサインオンの設定

シングルサインオン設定の編集 Step 1/2

シングルサインオン設定で使用する認証のタイプを指定してください。

Cookie発行/認証
 Cookie認証
 環境変数認証
 使用しない

サイボウズ 共通認証を併用する場合はチェックしてください。

サイボウズ 共通認証を併用する。

「サイボウズ共通認証を併用する」のチェックを有効にして、 を押します。

「シングルサインオン設定で使用する認証のタイプ」は、「ガルーン」に必要な設定にします。



[トップページ](#) > [システム設定](#) > シングルサインオンの設定

シングルサインオン設定の編集 Step 2/2

シングルサインオンの設定情報を入力してください。
(*は必須項目です。必ず入力してください。)

- シングルサインオンの設定

シングルサインオン設定を無効にします。

- サイボウズ 共通認証の設定

共通認証パスワード*

共通認証パスワード(確認)*

有効時間* ▼

Cookie発行範囲

更新する

キャンセルする

この画面で、共通認証を利用するための設定 と 「サイボウズ共通認証の情報」 を持つ Cookie の発行条件の設定 を行います。

共通認証を利用するための設定

- ▶ 「サイボウズ共通認証を有効にする」 のチェックを有効にします
- ▶ 共通認証パスワードを入力します

! 共通認証パスワードとは、「サイボウズ共通認証」 を利用するために必要なパスワードです。ここで設定したパスワードと同じパスワードを「デヂエ 5.0」 の「サイボウズ共通認証の設定」で設定する必要があります。

「サイボウズ共通認証の情報」 を持つ Cookie の発行条件 の設定


▶ 有効時間

「サイボウズ共通認証の情報」 を持つ Cookie が有効である時間を設定します。「ガルーン」 にログインしたとき等に、Cookie が発行されますが、ここで設定した時間を過ぎると「サイボウズ共通認証の情報」 を持つ Cookie は無効になります。この状態で、「デヂエ 5.0」 にアクセスすると、「サイボウズ共通認証」 を利用できないため、ログイン操作を行う必要があります。



▶ Cookie 発行範囲

「どの URL にアクセスした場合に、『サイボウズ共通認証の情報』を持つ Cookie を発行するか」を設定します。発行する条件として、「domain」と「path」の設定が必要になります。「domain」と「path」については、次の ONE POINT を参照してください。

| | | | | |
|---|--|--------------------------|----------------|---------|
|  | ▶ Cookie における domain 指定と path 指定について | | | |
| | http:// | garoon.otherdomain.co.jp | /cgi-bin/cbgr/ | ag.cgi? |
| | | domain | path | |
| | 「 domain 」はアクセスする URL のサーバーを指定する部分、「 path 」は、アクセスする URL のサーバー内のパスを指定する部分となります。 | | | |

「サイボウズ共通認証」を有効にするには、「ガルーン」でも「デヂエ 5.0」でも Cookie を発行できるように設定します。この説明での、アクセス URL 例は以下となっています。

| | | domain | path | |
|--------------------------|---------|--------------------------|----------------|---------|
| 「Office 6」への アクセス URL | http:// | garoon.otherdomain.co.jp | /cgi-bin/cbgr/ | ag.cgi? |
| 「デヂエ 5.0」への アクセス URL | http:// | dezie.domain.co.jp | /scripts/cbdb/ | db.exe? |

ここで、「Office 6」でも「デヂエ 5.0」でも Cookie を発行できるようにするには、それぞれのアクセス URL における「domain」、「path」の共通部分を設定します。

共通部分を、**青太字** で表示しています。

| | | domain | path | |
|-------------------------|---------|----------------------------------|------------------------|---------|
| 「ガルーン」への アクセス URL | http:// | garoon.otherdomain. co.jp | / cgi-bin/cbgr/ | ag.cgi? |
| 「デヂエ 5.0」への アクセス URL | http:// | dezie.domain. co.jp | / scripts/cbdb/ | db.exe? |

以上のことから、この例で「Office 6」と「デヂエ 5.0」の共通認証を利用するには、以下の設定となります。この値を「Office 6」での設定画面の Cookie の発行範囲に入力します。

例) domain=.co.jp;path=/;

設定の書式は、「domain= ;path= × ×;」となります。

！ domain を設定する時の注意

「domain」に設定する値には2つ以上のピリオドを含んでいなければいけません。また、なるべく発行の範囲を限定するように設定します。これは、ログイン情報を持つ Cookie の発行をなるべく狭い範囲で行うことで、ログイン情報を容易に取得できないようにするためです。

ここでの例で説明すると、以下のようになります。

| domain の設定値 | 有効/無効 |
|-------------|-------|
| .co.jp | |
| .jp | × |

COM、NET、ORG、BIZ、INFO などのトップレベルドメインであれば、1つのピリオドでも有効です。

！ path を設定する時の注意

「path」に設定する値は、なるべく発行の範囲を限定するように設定します。これは、ログイン情報を持つ Cookie の発行をなるべく狭い範囲で行うことで、ログイン情報を容易に取得できないようにするためです。

ここでの例で説明すると、以下のようになります。

| path の設定値 | 有効/無効 |
|-----------|-------|
| / | |

「/」のみ設定した場合、「domain」に設定した値でアクセスした場合には、必ず Cookie が発行されてしまうため、なるべくパスが限定されるような環境設定にすることをお勧めします。



2. 「デヂエ 5.0」で設定を行う
 - 1.) 「システム設定メニュー」画面を表示する
 - 2.) 左のメニューから [ユーザー管理] をクリックする
 - 3.) [サイボウズ共通認証] をクリックする
「サイボウズ共通認証の設定」画面が表示されます。
 - 4.) 「サイボウズ共通認証の設定」画面で、以下の設定を行う
 - ・「サイボウズ共通認証を有効にする」のチェックを有効にする
 - ・「ガルーン」の「サイボウズ共通認証設定」画面で設定した共通認証パスワードを入力する
3. アクセスして確認する
実際にアクセスして、サイボウズ共通認証の設定が有効になっているか確認します。
 - 1.) すべてのブラウザを閉じる
 - 2.) 「ガルーン」にログインする
 - 3.) 「デヂエ 5.0」にアクセスする
「デヂエ 5.0」にログインしている状態になっている

！ 「デヂエ 5.0」にログインできていない場合、以下の原因が考えられます。

▶ **同じログイン名を持つユーザーでログインしていない**

サイボウズ共通認証を行う「ガルーン」と「デヂエ 5.0」に、「同じログイン名が設定されているユーザー」が登録されていて、そのユーザーでログインしなければ、共通認証は動作しません。「ガルーン」、「デヂエ 5.0」それぞれのユーザーの設定を確認してください。



▶ 「サイボウズ共通認証」の設定内容に誤りがある

以下について確認してください

- ・「ガルーン」の「サイボウズ共通認証の設定」で、Cookie の発行範囲が正しく設定されているか
設定内容を再度確認してください。
- ・両方の設定で「サイボウズ共通認証を有効にする」が未チェックになっていないか
- ・両方の設定で同じ「共通認証パスワード」を設定しているか

▶ FQDN を含む URL で、「ガルーン」、「デチエ 5.0」にアクセスしていない

「ガルーン」、「デチエ 5.0」にアクセスする URL が、マシン名であったり、IP アドレスであった場合、「サイボウズ共通認証」は動作しません。

| | | |
|---|--|---------------|
| | http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe? | FQDN でのアクセス |
| × | http://dezie/scripts/cbdb/db.exe? | ホスト名のみでのアクセス |
| × | http://10.0.1.100/scripts/cbdb/db.exe? | IP アドレスでのアクセス |

FQDN でアクセスできない環境である場合には、DNS への登録を行うなどの対応をお願いいたします。



システムログの表示


システム管理者は、ライセンスに関わる操作・設定について、ログを閲覧できます。運用状況の把握、何らかの問題が発生した時に、ご活用ください。


システムログは、閲覧だけではなく、任意の日付以前の情報を CSV ファイルに書き出すこともできます。また、必要に応じてログの削除も行えます。

■ システムログに記録される操作・設定

- ライブラリの作成・削除
- ライブラリの本運用・仮運用の切り替え
- ユーザー情報連携の設定ユーザーの一括登録・削除
- グループの一括登録・削除
- ログイン方法の設定システム管理者の設定
- システム管理者用パスワードの設定
- ライブラリファイルの最適化
- メール通知での送信エラー
- システムログの削除

1. システム管理者としてログインする

2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。

※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する

4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。

5. [システムログの表示] をクリックする
「システムログ」画面が表示されます。



6. 必要に応じて、以下の操作を行う

➤ **CSV ファイルへの書き出し**

CSV ファイルに書き出したい期間を、「～以前」の日付で設定し、**CSV出力** を押す。

➤ **システムログの削除**

削除したい期間を「～以前」の日付で設定し、**削除する** を押す。

※ 期間はデフォルトで 1 年前 の日付に設定されています。



システム管理

ライブラリのアクセスログの設定

ライブラリに対する基本的な操作に対して「いつ」「誰が」「何をした」についてログを保存する設定をしたり、ログを CSV ファイルに書き出すことができます。これにより、利用頻度の測定や情報漏洩の対策にもなります。



ライブラリ保存設定のされているライブラリのログは、書き出す期間を指定し、CSV ファイルに書き出すことができます。

また、ライブラリ管理者にライブラリアクセスログの保存設定を許可する設定もこちらで行います。

以下の設定を確認・変更できます

- ライブラリ ID の確認
- ライブラリ名
- ライブラリログ保存設定の変更・確認
- 保存設定を許可する設定の変更・確認
- ライブラリログの書き出し

■ ライブラリログ保存設定の変更・確認

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [ライブラリログ] をクリックする
「ライブラリのアクセスログ」画面が表示されます。
6. ライブラリログ保存の設定を変更したい、ライブラリ欄の [設定] をクリックする
「ライブラリログ保存設定」画面が表示されます。



7. ログを保存するタイミングを以下の 11 個の中から選択し、希望の欄にチェックを入れる

➤ ライブラリログに記録される操作・設定

- ・ レコード一覧画面表示
- ・ レコード閲覧画面表示
- ・ 集計画面表示
- ・ レコード登録
- ・ レコード編集
- ・ レコード削除 (レコード削除時、レコード一括削除時)
- ・ 文字列置換
- ・ 再ルックアップ
- ・ ライブラリのデータ入出力 (CSV 読み込み・書き出し、DBM 書き出し、XML 書き出し)
- ・ メール読み込み
- ・ レコードコピー (レコードコピー実行時、レコードコピーによるレコード追加時)
- ・ (ライブラリログ設定時)

※ ライブラリログ設定時のログは書き出しの on/off を切り替えることが出来ません。
無条件で書き込まれます。期間はデフォルトで 1 年前 の日付に設定されています。

8. ライブラリ管理者にライブラリログ保存設定を許可したい場合は、「ライブラリ管理者
にライブラリログ保存設定を許可する」 にチェックを入れる



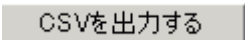
ライブラリ管理者がライブラリログの保存設定を変更できるようになります

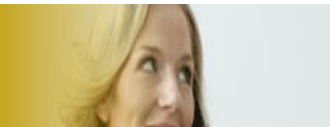
9. を押す

■ ライブラリログ保存設定の変更・確認

ライブラリログを期間を指定して CSV ファイルに書き出すことができます。

〈!〉 ライブラリログ保存設定 をおこなっていないライブラリのログは書き出されません。
先に、ライブラリログ保存設定 を行ってください。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [ライブラリログ] をクリックする
「ライブラリのアクセスログ」画面が表示されます。
6. ライブラリログを CSV ファイルに書き出したいライブラリ欄の [書き出し] をクリックする
「ライブラリログの書き出し」画面が表示されます。
7. ライブラリログを書き出す期間をプルダウンメニューで指定する
※ 今日以降の日付を指定することはできません。
また、ログを保存する設定をする以前のログは書き出されません。
8. 必要に応じて 「先頭行に項目名を書き出す」 にチェックする
9.  を押す



▶書き出されるライブラリログのフォーマット

ログファイルは CSV ファイルにて、以下のフォーマットで書き出されます。

"yyyy/mm/dd" , "hh:mm:ss" ,"IP アドレス","ユーザー名","操作","備考"

例)

| 日付 | 時刻 | IP アドレス | ユーザー名 | 操作 | 備考 |
|------------|----------|----------|-------|--------|---------------|
| 2004/10/12 | 12:00:00 | 10.0.0.1 | 佐藤 昇 | レコード一覧 | ビュー==標準(ビュー名) |

▶ライブラリログに保存される操作と備考欄の詳細内容

保存設定名と操作の関係、備考欄の詳細な内容を以下にて確認できます。

| 保存設定名 | 操作 | 備考 |
|----------------|---|--|
| | | 備考欄に書き出す文字列を以下の欄に太字で表示しています。 |
| レコード一覧 画面表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・レコード一覧画面表示 ・簡易検索結果画面表示 ・詳細検索結果画面表示 ・ソートの実行 ・ソート順の切替実行 ・絞り込み切替実行 ・レコード一覧ビュー切替実行 ・ダイレクト表示実行 ・前次の 件/先頭/末尾 クリック ・リンクリストの表示/非表示 切替 <p>=====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザでの「再読込」操作 | <p>ビュー = (ビュー名) レコード一覧表示に使用しているレコード一覧ビュー名を示す。 レコード一覧ビューが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>絞り込み = (絞り込み名) レコード一覧表示使用している絞り込み名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列) 簡易検索時に設定した検索文字列を示す。</p> <p>ソート = (フィールド名) / (昇降順) ソートを実行しているフィールド名、昇降順を示す。 レコード番号でソートが行われている場合には、書き出されない。</p> |



| | | |
|------------------------|---|--|
| <p>レコード閲覧 画面表示</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・レコード閲覧画面表示 ・フィールドレイアウト切替実行 ・先頭/前/次/末尾 クリック ・My リンクリスト表示/非表示 切替 ・レコード登録実行(確認画面) ・レコード編集実行(確認画面) ・レコード登録者変更(確認画面) ===== ・ブラウザでの「再読込」操作 | <p>レコード = (レコード番号) 閲覧しているレコードのレコード番号を示す。</p> <p>フィールドレイアウト = (フィールドレイアウト名) 閲覧画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。 フィールドレイアウトが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> |
| <p>集計画面表示</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・集計画面表示 ・ソートの実行 ・ソート順の切替実行 ・絞り込み切替実行 ===== ・ブラウザでの「再読込」操作 | <p>集計 = (集計名) 集計に使用している集計名を示す。</p> <p>絞り込み = (絞り込み名) 集計結果表示時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列) 集計実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| <p>レコード登録</p> | <p>レコード登録を実行</p> | <p>レコード = (レコード番号) 新しく追加されたレコードのレコード番号を示す。</p> <p>フィールドレイアウト = (フィールドレイアウト名) 登録画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。 フィールドレイアウトが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> |
| <p>レコード編集</p> | <p>レコード編集を実行</p> | <p>レコード = (レコード番号) 編集されたレコードのレコード番号を示す。</p> <p>フィールドレイアウト = (フィールドレイアウト名)</p> |



| | | |
|---------|--------------------------------|---|
| | | <p>編集画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。</p> <p>フィールドレイアウトが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> |
| レコード削除 | レコードを1件削除 | <p>レコード = (レコード番号)</p> <p>削除されたレコードのレコード番号を示す。</p> |
| | レコード一括削除実行 1件も削除されなくてもログを残す | <p>絞り込み = (絞り込み名)</p> <p>一括削除実行時に行われていた絞り込み名を示す。</p> <p>絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列)</p> <p>一括削除実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| 文字列置換 | 文字列の一括置換実行により、1件以上のデータ変更が行われた | <p>絞り込み = (絞り込み名)</p> <p>文字列置換実行時に行われていた絞り込み名を示す。</p> <p>絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> |
| | | <p>簡易検索 = (検索文字列)</p> <p>文字列置換実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| | | <p>置換前 = (置換前文字列)</p> <p>置換前の文字列を示す。</p> |
| | | <p>置換後 = (置換後文字列)</p> <p>置換後の文字列を示す。</p> |
| | | <p>フィールド = (フィールド名)</p> <p>文字列置換を行う対象となったフィールド名を示す。</p> <p>すべてのフィールドが対象の時はこの情報は書き出されない。</p> |
| 再ルックアップ | 再ルックアップ実行 1件も変更されなくてもログを残す | <p>リレーション = (リレーション名)</p> <p>再ルックアップ実行時に使用したリレーション名を示す。</p> |



| | | |
|--------------|--|--|
| | | <p>絞り込み = (絞り込み名) 再ルックアップ実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列) 再ルックアップ実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| メール読み込み | メール読み込みにより、1件以上レコードが登録されたとき | <p>レコード数 = (読み込みレコード数) メール受信によるレコード登録で、登録されたレコード件数を示す。</p> |
| ライブラリのデータ入出力 | 1件以上のレコードを CSV で読み込む | <p>レコード数 = (読み込みレコード数) CSV 読み込みにより、登録・編集されたレコード件数を示す。</p> |
| | <p>CSV 書き出し実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリ管理画面で、CSV 書き出し実行 <ul style="list-style-type: none"> - レコード一覧画面のメニューでリンククリック - 集計画面で、リンククリック ・CSV 読み込み画面でのリンククリック | <p>集計 = (集計名) CSV 書き出し対象となった集計に使用していた集計名を示す。</p> <p>絞り込み = (絞り込み名) CSV 書き出し実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列) CSV 書き出し実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| | XML 書き出し実行 | <p>絞り込み = (絞り込み名) XML 書き出し実行時に行われていた絞り込みの名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されない。</p> <p>簡易検索 = (検索文字列) XML 書き出し実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。</p> |
| | <p>DBM 書き出し実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリ管理画面で書き出しのリンククリック <ul style="list-style-type: none"> - ライブラリ ID .dbm で書き出し | 備考欄には何も書き出しません。 |



| | | |
|-----------|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> - ライブラリ名 .dbm で書き出し ・システム管理画面で最適化を行う前の書き出しリンクをクリック | |
| レコードコピー | レコードコピー実行 | レコードコピー = (コピー名) ライブラリ間レコードコピーに使用しているレコードコピー名を示す。 |
| | | 絞り込み = (絞り込み名) ライブラリ間レコードコピー実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが (すべて) の場合には、この情報は書き出されません。 |
| | | 簡易検索 = (検索文字列) ライブラリ間レコードコピー実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。 |
| | レコードコピー実行によりレコードが追加 | コピー元 = (コピー元ライブラリ名) コピー元のライブラリ名を示す。 |
| | | レコードコピー = (コピー名) ライブラリ間レコードコピーに使用しているコピー名を示す。 |
| | | レコード数 = (読み込みレコード数) ライブラリ間レコードコピーにより、登録されたレコード件数を示す。 |
| ライブラリログ設定 | ライブラリログの設定実行 | 備考欄には何も書き出しません。 |

※ ライブラリログ設定のログは無条件で書き込まれます。









■ ライブラリログの削除

ライブラリログを保存しているログファイルは自動で削除されることがありません。
必要があれば、ライブラリログファイルを直接削除してください。

▶ ライブラリログファイルの格納場所

ライブラリログファイルの格納場所は以下の通りです。

インストール先のディレクトリ以下

| | |
|---|--|
|  file | ファイルフィールドで登録したファイルが格納されるディレクトリ |
| | |
|  db | |
|  ライブラリ ID | ライブラリごとにライブラリ ID 名のディレクトリが作成され、ファイルフィールドで登録したファイルが格納されます。 ライブラリ ID はライブラリ情報に記載されています。 |
|  Logs | ライブラリログが保存されるディレクトリ ライブラリログはテキストファイルで保存されます |
|  ライブラリ ID | ライブラリごとにライブラリ ID 名のディレクトリが作成され、ライブラリログファイルが格納されます。 ライブラリ ID はライブラリ情報に記載されています。 |
|  logYYYYMMDD.csv | ライブラリログファイル (ライブラリログを削除する際はこちらのファイルを削除してください。) |



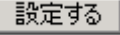
※ライブラリログファイルは、ログが記録される操作が行われた時点で、日付ごとに作成されます。

メンテナンス時間の設定

メンテナンス時間を設定すると、ユーザーから デチエ へのアクセスを一時的に停止させることができ、データの破損や不整合を防ぐことができます。

デチエ のバージョンアップやデータのバックアップなど、デチエ に対して作業を行う場合にご利用いただくことをお勧めします。

■ メンテナンス時間の設定

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [メンテナンス時間の設定] をクリックする
「メンテナンス時間の設定」画面が表示されます。
6. メンテナンスを行う時刻と、画面に表示させるメッセージを登録する
7.  を押す

メンテナンス時間に デチエ にアクセスすると、以下の画面が表示されます。



■ メンテナンス時間の解除

メンテナンス時間は、以下の場合に解除されます

1. 設定した時刻が経過した場合
2. メンテナンス時間を設定したブラウザから デヂエ にアクセスし、解除した場合
手動でのメンテナンス時間の解除手順は以下のとおりです。
 1. 「メンテナンス中」のメッセージにある [[メンテナンス時間の設定](#)] をクリックする
※ [[メンテナンス時間の設定](#)] のリンクは、メンテナンス時間を設定したパソコンのブラウザでのみ表示されます。
 2. をクリックする

ライブラリファイルの最適化

ライブラリファイルの最適化をすることによって、データアクセス時の無駄が無くなり、処理速度が向上します。

ライブラリファイルを最適化すると、ライブラリが効率よく動作するよう調整し、ファイルのサイズを小さくすることができます。

最適化して効果が得られるライブラリファイルの目安は、2MB 以上で、レコードデータの更新が頻繁に行われるものになります。

※ また、デジエ の利用機能を制限することで、処理速度の向上を図ることが可能です。

〈!〉最適化を実行する前に、バックアップをとることをお勧めします。

〈!〉ライブラリ最適化実行中はメンテナンスモードになります。

メンテナンスモード中は、他のユーザーは デジエ にアクセス出来なくなります。




メンテナンス時間に デジエ にアクセスすると、以下の画面が表示されます。

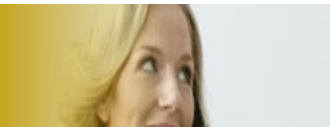


※ 最適化を実行しても、ファイルサイズが減少しない場合もあります。

※ ライブラリファイルのサイズが比較的小さい場合、最適化の効果はあまりありません。

※ 最適化に必要な空き容量は、(ライブラリ容量 × 2 + 10M) バイトです。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
※ システム管理者のみ全ての画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [ライブラリファイルの最適化] をクリックする
「ライブラリファイルの最適化」画面が表示されます。
6. メンテナンス時間を設定し、必要に応じてメンテナンス時間中に表示するメッセージを入力する
※ 既にメンテナンス時間の設定を行っている場合は、メンテナンス時間が変更になります。
7.  を押す
「ライブラリファイルの最適化」画面が表示されます。
「ライブラリファイルの最適化」画面では、以下の項目を確認することができます。
 - ・ ライブラリ ID
 - ・ ライブラリ名
 - ・ サイズ
 - ・ ライブラリ最適化の最終実行日※ ライブラリ最適化の最終実行日は デヂエ 5.0 以降で最適化された日が表示されません。デヂエ 5.0 以降で最適化を実行していなければ空欄となります。
8. ライブラリファイルの最適化を実行したいライブラリ名の右に表示されている [実行] をクリックする
「実行確認画面」が表示されます。
※ 念のため、画面上の (ライブラリ ID).dbm のリンクをクリックし、ライブラリファイルのバックアップをとることをお勧めします。



9. **実行する** を押す

最適化が終了すると 「ライブラリファイルの最適化」 画面に戻り、結果が表示されます。最適化が終了すると 「ライブラリファイルの最適化」 画面に戻り、結果が表示されます。

※ ファイルサイズが大きい場合、時間がかかる場合があります。

10. **[戻る]** をクリックする

「ライブラリの最適化画面」が表示されます。

※ 続けてライブラリファイルの最適化を行う際は、上記の手順 8 ~ 10 を繰り返して行ってください。


※ ライブラリファイルの最適化が終了しても、メンテナンス時間は自動的に解除されません。

ライブラリの最適化画面より、**[時間変更する]** もしくは **[解除する]** を行ってください。



▶**処理速度を上げる工夫**

レコード一覧画面の検索機能は使わない

レコード一覧画面の  **検索** を利用すると、全フィールド × 全レコードに対して検索がかかります。フィールド数やレコード数の多いライブラリでは、検索時間が長くなる可能性があります。

カスタマイズのメニューの設定で検索を表示しないなど、工夫してください。

多くのフィールドにソートをかけない

デジエ では、ソートした結果を別のデータとして保持しています。ソートのフィールド数が増えると、データベースの容量が増加して、レスポンスの低下を招く恐れがあります。

レコード一覧画面の、表示フィールド数を少なくする

レコード一覧画面に表示するデータ量が増えると、レスポンスが低下する恐れがあります。

検索・絞り込みの実行結果のヒット件数表示を OFF にする

ヒット件数の表示を ON に設定していると、すべてのレコードを検索ようになります。レコード数が多い場合には検索時間が長くなるため、レスポンスが遅くなる可能性があります。

ONE POINT

▶メンテナンス時間中の画面

メンテナンス時間を設定したユーザー

メンテナンス時間を設定したユーザーは、メンテナンス時間中に デヂエ にアクセスすると以下の画面が表示されます。

メンテナンス時間を設定したユーザーは、以下の画面から [[メンテナンス時間の設定](#)] および [[ライブラリファイルの最適化](#)] を行うことができます。



メンテナンス時間を設定していないユーザー

メンテナンス時間を設定していないユーザーが、メンテナンス時間中に デヂエ にアクセスすると以下の画面が表示されます。





Webサーバーのインストール

Web サーバーとは、ブラウザからの要求をサーバーに送り、サーバーからの応えをクライアントに送るためのソフトです。インストールがまだの場合は、簡単にできますので、次頁以降のインストール ガイドを見ながら挑戦してみてください。

デヂエ には、「サイボウズ Web サーバー」 が付属しています。デヂエ と併せてインストールすることで、こちらをご利用いただけます。

| サーバーOS | お勧めする Web サーバー |
|---------------------------|---|
| WindowsNT 4.0 Server | IIS4.0 (Microsoft Internet Information Server 4.0) |
| WindowsNT 4.0 Workstation | PWS3.0 (Microsoft Peer Web Services 3.0 for Windows NT Workstation version 4.0) |
| Windows2000 Professional | IIS5.0 (Microsoft Internet Information Services 5.0) |
| Windows2000 Server | Apache 1.3.20 以降 |
| WindowsXP Professional | IIS 5.1 (Microsoft Internet Information Services 5.1) |
| Windows Server 2003 | IIS 6.0 (Internet Information Services 6.0) |

■ IIS4.0 (Microsoft Internet Information Server 4.0) のインストール

ここでは WindowsNT Server 4.0 に IIS (Internet Information Server) 4.0 をインストールする方法を紹介します。

インストール方法の概要

WindowsNT Sever 4.0 に Service Pack 3 をインストールし、さらに Internet Explorer 4.01 以降がインストールされていなければなりません。そして、その状態で Microsoft WindowsNT 4.0 日本語版 Option Pack をインストールすることで、自動的に IIS 4.0 にバージョンアップされます。さらに IIS 4.0 のバグフィックスが含まれている Service Pack 6a をインストールすることでより安定して動作します。

1. インストール前の確認 IIS 4.0 をインストールする前に次の設定が終わっていることをご確認下さい。

- あなたが Administrators の権限でログオンできること。
- Internet Explorer 4.01 以降がインストールされていること。

2. Option Pack を入手する

Microsoft WindowsNT 4.0 日本語版 Option Pack を入手します。Option Pack は、WindowsNT 関係の雑誌の付属 CD、最近の WindowsNT 4.0 Server のパッケージなどから入手できます。ダウンロードした場合はまず解凍してください。(シンボルファイルはとりあえず必要ありません。)

3. Option Pack をインストールする

CD-ROM の自動再生が ON になっている場合は、自動的に D:\SETUPCD\WINNT.SRV\default.htm (D が CD-ROM ドライブのとき) が開きます。左の [インストール] をクリックし、次に [WindowsNT Option Pack のインストール] をクリックすると、インストーラが起動します。

次に [このプログラムを上記の場所から実行する] を選び、[OK] をクリックすると、セットアップが進みます。

途中、「Microsoft Web Server このバージョンを新しいバージョンへアップグレードします」という表示が出るので、[アップグレードだけを行う] を選択します。Option Pack に収められている他の新機能をインストールしたい場合は、[アップグレードプラス] を押して下さい。



4. インストールの終了と動作確認

ファイルのコピーが始まり、インストールが行なわれます。

インストールが終了しましたら、再起動してください。

確認は、Microsoft インターネットサービスマネージャ を立ち上げ、ヘルプメニューからバージョン情報を調べてください。Internet Information Server 4.0 と表示されていりましたら、バージョンアップは完了です。

※ FrontPage サーバエクステンションが有効になっていると正常に動作しません。

■ PWS3.0 (Microsoft Peer Web Services 3.0 for Windows NT Workstation version 4.0) のインストール

「Peer Web Services」は WindowsNT 4.0 Workstation に付属する、WindowsNT Workstation 用の Web サーバソフトです。WindowsNT 3.5.x Workstation にはインストールできませんのでご注意ください。

「Peer Web Services」のインストールは、WindowsNT 4.0 Server 4.0 に IIS (Internet Information Server) 2.0 をインストールするのと同様に行なえます。

次の IIS 2.0 のインストール方法をご参照の上、同様にインストールを行なってください。

■ IIS2.0 (Microsoft Internet Information Server 2.0)のインストール

ここでは WindowsNT Server 4.0 に IIS (Internet Information Server) 2.0 をインストールする方法を紹介します。(IIS 3.0 にアップグレードする場合は、まず IIS 2.0 をインストールしておく必要があります。)

〈!〉セキュリティ対策上、IIS4.0 のご使用を強くお勧めします。

インストール方法の概要

サーバマシンに IIS をインストールする方法は次のようにいくつか存在します。

- WindowsNT Server をセットアップする際、IIS のインストールを選択する。
- WindowsNT Server の CD-ROM からセットアッププログラムを実行する。
- コントロールパネルの中からネットワークを選択し、そこで「サービス」の「追加」を Microsoft Internet Information Server を選択する。

ここでは最後のコントロールパネルから組み込む方法を紹介합니다。



1. インストール前の確認

サーバーマシンに IIS をインストールする前に次の設定が終わっていることをご確認ください。

- あなたが Administrators の権限でログオンできること。
- TCP/IP の設定が正しく行なわれていること。

Netscape Navigator や Internet Explorer などのブラウザから正常にインターネットにアクセスできれば、TCP/IP の設定は正常に行なわれていると考えられます。

2. コントロールパネルからネットワークを開く

まず Administrator としてログオンしてください。

そして、コントロールパネルからネットワークを開いてください。

すると、「識別」「サービス」「プロトコル」...などのメニューが表示されますので、「サービス」を選んで下さい。

3. サービスに IIS を追加する

現在、システムに組み込まれているサービスの一覧が表示されていますので、ここで「追加...」を押して IIS を組み込みます。



「OK」を押すとインストールするファイルがある場所を聞いてきますので、CD を挿入し「OK」を押して進みます。



4. インストールオプション

インストールオプションのリストが表示されますが、「インターネットサービスマネージャ（設定用ソフト）」「World Wide Web サービス（サーバー本体）」はチェックをしてインストールしておいてください。「ODBC ドライバと管理ツール」はとりあえず必要ありません。

5. インストール先ディレクトリパスの設定

デフォルトのディレクトリパスのまま結構ですので、そのまま「OK」を押して進んで下さい。

6. パブリッシュディレクトリの設定

パブリッシュディレクトリとは、ホームページのデータを入れておく場所です。通常は“C:\inetpub\wwwroot”になっています。とりあえず変更する必要はありませんので、そのまま進んで下さい。

7. インターネットアカウントの設定

インターネットアカウントとは、ホームページにアクセスしてきた人に割り当てられるユーザアカウントです。これもとりあえず変更する必要はありませんので、そのまま進んでください。

8. インストールの終了と動作確認

インストールが終了しましたら、一度再起動してください。

それでは、近くのパソコンからアクセスしてみましょう。ブラウザを立ち上げ、

[http://\(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名\)/](http://(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名)/)

と入力します。「サーバーの IP アドレスまたはサーバー名」のところには、「サーバーの IP アドレス（例：10.0.0.19）」または「サーバー名（例：www.corp.cybozu.co.jp）」を入力します。例えば、

例 1) <http://10.0.0.19/>

例 2) <http://www.corp.cybozu.co.jp/>

のようになります。サンプルの IIS の画面が表示されましたらインストールは完了です。



■ IIS5.0 (Microsoft Internet Information Services 5.0) のインストール

ここでは Windows2000 Professional に IIS (Internet Information Services) 5.0 をインストールする方法を紹介します。

インストール方法の概要

Windows2000 には標準で IIS5.0 が付属しています。

「コントロールパネル」の「追加と削除」から IIS5.0 をインストールします。

1. インストール前の確認

IIS 5.0 をインストールする前に次の設定が終わっていることをご確認ください。

- あなたが Administrators の権限でログオンできること。

2. IIS5.0 をインストールする

1. その他のWEBサーバーソフトが動作している場合は、全て停止しておいてください。
2. コントロールパネルを開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」タブをクリックすると、Windows コンポーネント ウィザードを開始します。
4. 「インターネット インフォメーション サービス (IIS)」のチェックボックスをオンにし、「次へ」ボタンを押します。
5. その後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

3. インストールの終了と動作確認

1. ファイルのコピーが始まり、インストールが行なわれます。
2. インストールが終了しましたら、再起動してください。
3. 「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き「インターネット サービス マネージャ」を起動します。
4. 「規定の Web サイト」を右クリックし「開始」を選択します。
5. ブラウザーソフトにて [http://localhost/iishelp/] を開き、IIS の製品概要が表示されればインストールは正常に終了しています。

※ FrontPage サーバエクステンションが有効になっていると正常に動作しません。

■ Apache (Windows 版) 1.3.x のインストール

ここでは、Windows 2000 Professional に Apache をインストールする方法を紹介します。

インストール方法の概要

Apache は、フリーの Web サーバーです。

インターネット上よりダウンロードし、お使いのサーバーマシンにインストールします。

1. インストール前の確認

Apache をインストールする前に、次の項目をご確認下さい。

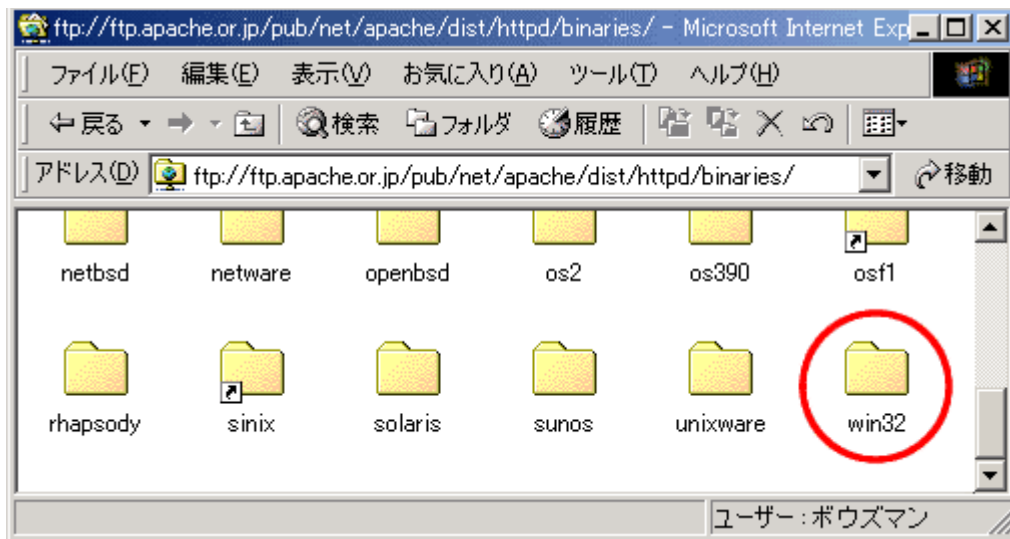
あなたが Administrators の権限でログオンできること。

2. Apache をダウンロードする (1)

Apache のダウンロードは、以下のページより行って下さい。

<http://www.apache.or.jp/misc/download.html>

ご利用のネットワークに近い、FTP サイトもしくは、HTTP サイトのリンクをクリックし、
[binaries]-[win32] ディレクトリに移動します。



3. Apache をダウンロードする (2)

「apache_1.3.**-win32-x86.msi」をクリックし、サーバー上に保存します。

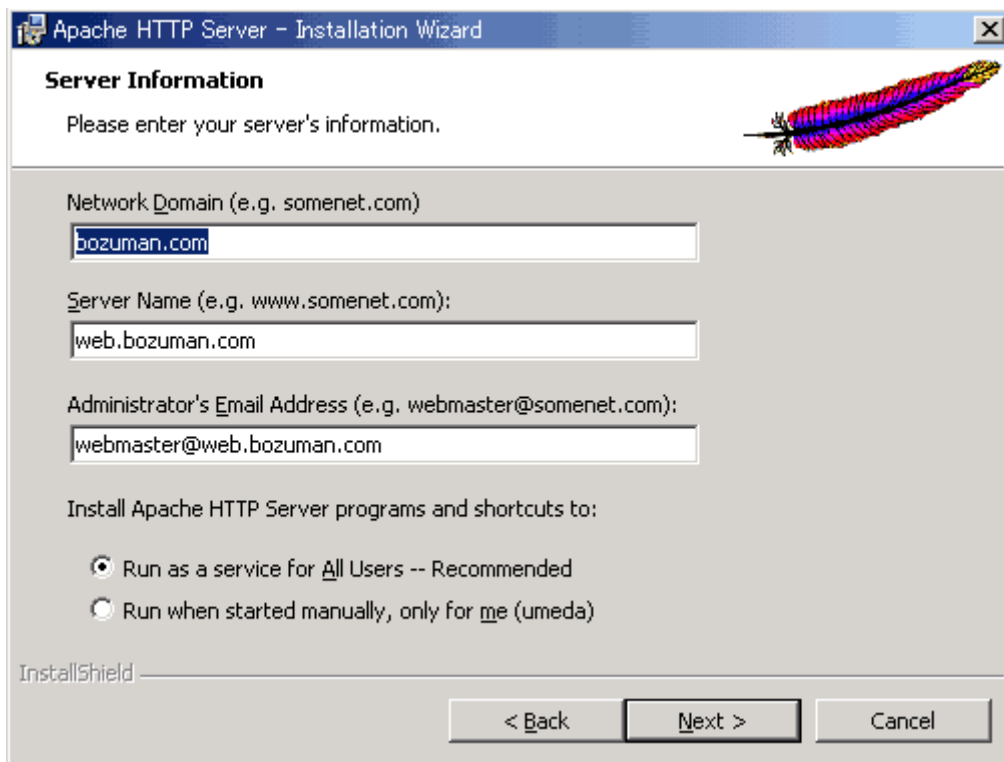
※ 「**」の部分には、現在公開されている Apache のバージョン名が入ります。最新のバージョンをダウンロードして下さい。

4. Apache をインストールする

ダウンロードした「apache_1.3.**-win32-x86.msi」をダブルクリックし、インストーラーを起動します。

※ インストーラーは全て英語で表示されます。

1. “Welcome” 画面が表示されるので、<Next>ボタンをクリックします。
2. 同意書が表示されます。“I accept the terms in the license agreement”をクリックし、<Next>ボタンをクリックします。
3. “Read This First” 画面が表示されます。
内容を見て、<Next>ボタンをクリックします。
4. サーバーの設定を入力し、“Run as a service for all Users” にチェックを入れ、<Next>ボタンをクリックします。



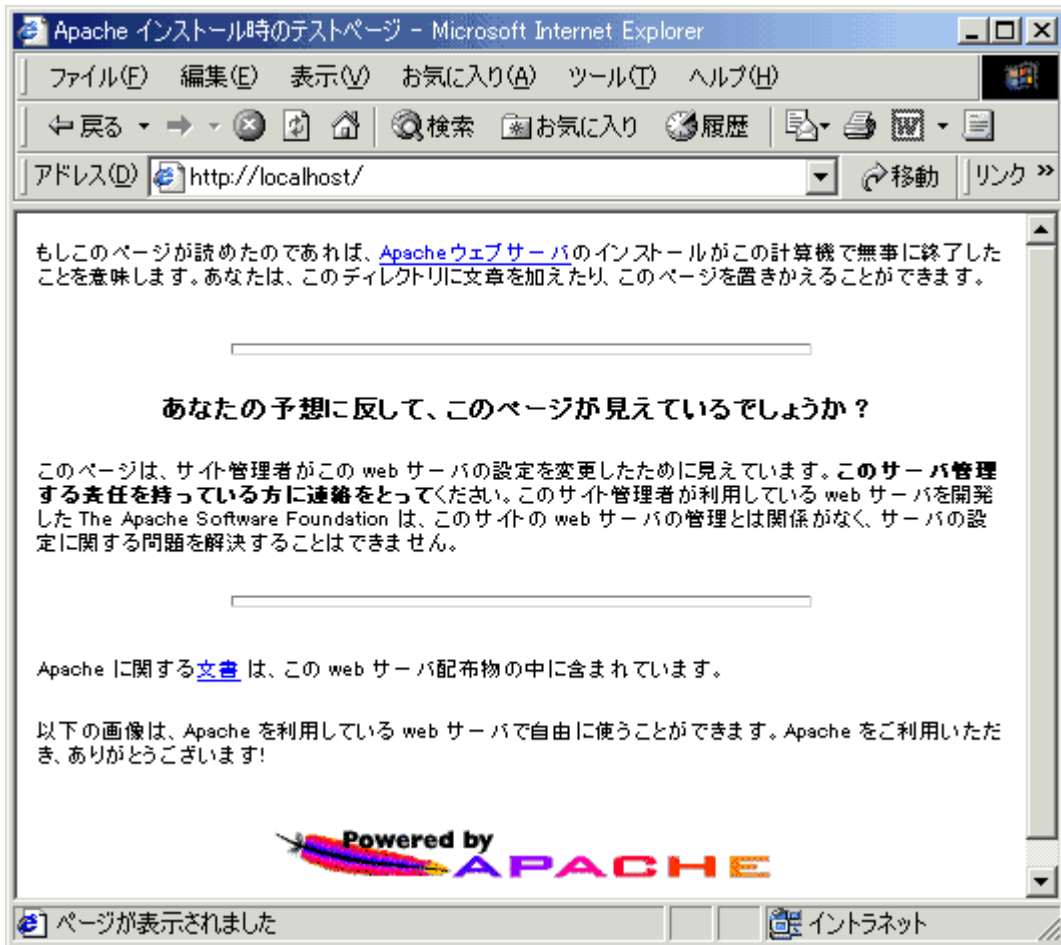
5. “Complete” にチェックを入れ、<Next>ボタンをクリックします。
6. インストール先ディレクトリを確認し、<Next>ボタンをクリックします。
→デフォルトでは、「C:\Program Files\Apache group」に設定されています。
7. <Install>ボタンをクリックします。
8. インストールが終了したら、<Finish>ボタンをクリックします。

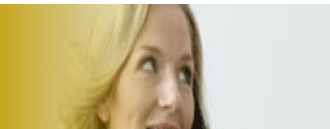


5. Apache の起動と動作確認

インストールが終わりましたら、Windows のスタートプログラムより、
[Apache HTTP Server]→[Control Apache Server]→[Restart] を実行し、Apache を起
動します。

ブラウザから、http://localhost/ にアクセスし、Apache のページが表示されていれ
ば、インストールは正常に終了しています。





▶ Apache (Windows 用) を初期値でインストールされた場合、インストール時に、他の Web サーバーと異なるフォルダ指定が必要となります。

◎ Web サーバーのホームディレクトリ

→ C:\Program Files\Apache Group\Apache\htdocs

◎ 「サイボウズ デヂエ」のインストールディレクトリ (CGI 実行ディレクトリ)

→ C:\Program Files\Apache Group\Apache\cgi-bin\cbdb

◎ アクセス URL は以下のようになります。

http:// (サーバーのホスト名 または IP アドレス) /cgi-bin/cbdb/db.exe?

例) http://bozuman.com/cgi-bin/cbdb/db.exe?

例) http://10.0.0.1/cgi-bin/cbdb/db.exe?

予めご留意下さい。



■ IIS 5.1 (Microsoft Internet Information Services 5.1) のインストール

ここでは WindowsXP Professional に IIS (Internet Information Services) 5.1 をインストールする方法とサイボウズ製品を利用するための設定を紹介します。

インストール方法と設定の概要

WindowsXP professional には標準で IIS 5.1 が付属しています。

「コントロールパネル」の「追加と削除」から IIS 5.1 をインストールします。

¥inetpub¥Scripts 以下のフォルダをアクセスできるように設定します。

IIS の匿名アクセスを許可します。

1. インストール前の確認

IIS 5.1 をインストールする前に次の設定が終わっていることをご確認ください。
あなたが Administrators の権限でログオンできること。

2. IIS 5.1 をインストールする

その他の WEB サーバーソフトが動作している場合は、全て停止しておいてください。

1. コントロールパネルを開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
2. 「Windows コンポーネントの追加と削除」タブをクリックすると、Windows コンポーネント ウィザードを開始します。
3. 「インターネット インフォメーション サービス (IIS)」のチェックボックスにチェックを入れ、「詳細」ボタンをクリック、「FrontPage2000 サーバエクステンション」のチェックボックスのチェックを外してから「次へ」ボタンをクリックします。
4. その後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

3. インストールの終了と動作確認

1. ファイルのコピーが始まり、インストールが行なわれます。
インストールが終了しましたら、再起動してください。
2. 「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き「インターネット インフォメーション サービス」を起動します。
3. 「規定の Web サイト」を右クリックし「開始」を選択します。
4. ブラウザーソフトにて [<http://localhost/iishelp/>] を開き、IIS の製品概要が表示されればインストールは正常に終了しています。



4. 簡易ファイルの共有設定をはずす
 1. エクスプローラを起動します。
 2. メニューバーより「ツール」をクリックして「フォルダオプション」を選択します。
 3. 「表示」タグをクリックします。
 4. 「簡易ファイルの共有を使用する（推奨）」のチェックをはずします。

 5. Scripts ファイルを Web 共有に設定
 1. ¥(IIS インストールディスク):¥Inetpub¥Scripts フォルダで右クリックして「プロパティ」を開きます。
 2. 「Web 共有」タブをクリックします。
 3. 「このフォルダを共有する」にチェックをします。
 4. エイリアスの編集画面が表示されますので、「アクセス権」の「読み取り」のチェックを外し、「アプリケーションの許可」の「実行（スクリプトを含む）」にチェックします。

 6. Scripts ディレクトリのアクセス権を設定
 1. ¥(IIS インストールディスク):¥Inetpub¥Scripts フォルダ上で右クリックして「プロパティ」を開きます。
 2. 「セキュリティ」タブをクリックします。
 3. 「追加」ボタンをクリックします。
 4. 「選択するオブジェクト名を入力してください」の入力欄に「everyone」と入力して「OK」をクリックします。
 5. 「Everyone のアクセス許可」の「フル コントロール」をチェックします。

 7. IIS の匿名アクセスを許可
 1. マイコンピュータ上で右クリックして「管理」をクリックします。
 2. サービスとアプリケーション→インターネット インフォメーション サービス→Web サイト→既定の Web サイト を順次開き、Scripts 上で右クリックして「プロパティ」を選択します。
 3. 「ディレクトリ セキュリティ」タブをクリックします。
 4. 「匿名アクセスおよび認証コントロール」の「編集」ボタンをクリックします。
 5. 「匿名アクセス」にチェックを入れます。
- FrontPage サーバエクステンションが有効になっていると正常に動作しません。

■ IIS 6.0 (Internet Information Services 6.0)のインストール

ここでは、Windows Server 2003 Enterprise Edition に IIS (Internet Information Services) 6.0 をインストールする方法を紹介します。

インストール方法と設定の概要

Windows Server 2003 Enterprise Edition には標準で IIS 6.0 が付属しています。

「管理ツール」の「サーバーの役割管理」から IIS 6.0 をインストールします。

1. インストール前の確認

IIS 6.0 をインストールする前に次の設定が終わっていることをご確認ください。

あなたが Administrators の権限でログオンできること。

2. IIS 6.0 をインストールする

その他の Web サーバーソフトが動作している場合は、全て停止しておいてください。

1. スタートメニューから「設定」を開き「コントロールパネル」の「管理ツール」内にある「サーバーの役割管理」を選択します。
2. 「サーバーの役割管理」画面が表示されます。
3. 「役割を追加および削除する」をクリックしてください。
4. 「サーバーの構成ウィザード」が表示されますので以下のような設定をします。
5. 「サーバーの役割」は「Web アプリケーションサーバー (IIS、ASP.NET)」を選択します。
6. 「Web アプリケーションサーバーのオプション」の「FrontPage サーバー拡張」のチェックを外します。

※ 「FrontPage サーバー拡張」が有効になっていると、正常に動作しません。

その後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

3. インストールの終了と動作確認

1. ファイルのコピーが始まり、インストールが行なわれます。
2. インストールが終了しましたら、「サーバーの役割管理」画面に戻ります。
3. 「Web アプリケーションサーバー」が追加されていると、正常にインストールが完了した状態です。



4. Scripts フォルダの作成とアクセス権の設定

1. Scripts フォルダ（または、それに代わるフォルダ）を作成します。
ウィンドウズのエクスプローラで以下の場所に作成してください。

作成例

c:\inetpub\Scripts

2. Scripts フォルダを作成後、Scripts のプロパティを開きます。
3. 「セキュリティ」タブを選択し、「追加」ボタンを押します。
4. 「ユーザー または グループ の選択」画面が表示されますので、「詳細設定」をクリックし「今すぐ検索」ボタンを押してください。
5. 表示されたグループ名から「Everyone」を選択し、「OK」をクリックします。
6. 「セキュリティ」タブに戻り、「Everyone」に対して「フルコントロール」のチェックを入れます。

5. 仮想ディレクトリの作成

1. スタートメニューから「管理ツール」を選択し、「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」を起動します。
2. 「Web サイト」内にある「既定の Web サイト」を右クリックし、「新規作成」から「仮想ディレクトリ」を選択します。
3. 「仮想ディレクトリの作成ウィザード」が表示されますので、以下のように設定してください。

エイリアス : Scripts

ディレクトリ : c:\inetpub\Scripts

上記手順で「既定の Web サイト」以下に Scripts の仮想ディレクトリが作成されます。

6. IIS 6.0 の設定

1. 「既定の Web サイト」以下の仮想ディレクトリ Scripts のプロパティを開きます。
2. 「仮想ディレクトリ」タブで「実行アクセス許可」を「スクリプトおよび実行可能ファイル」に設定します。
3. 同様に「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」の画面に戻り、「Web サービス拡張」を選択します。
4. 右ウィンドウに「Web サービス拡張」が表示されますので、「すべての不明な CGI 拡張」を選択し、「許可」ボタンを押します。



7. IIS 6.0 の動作確認

1. IIS 6.0 をインストールしたサーバーマシンのブラウザソフトにて [http://localhost/] を開きます。
2. 「作業中」というページが表示されれば、IIS 6.0 のインストールが正常に終了しています。



新規インストール (Windows)

デヂエ 5.0 Windows 版のインストール方法をご案内します。

デヂエ には、「サイボウズ Web サーバー」 が付属しています。デヂエ と併せてインストールすることで、こちらをご利用いただけます。

■ インストール前の確認

➤ 動作環境を確認

貴社のネットワーク環境で利用いただけるかを、こちら のページでご確認ください。

http://d.cybozu.co.jp/review/dousa_kankyo.html

➤ ダウンロード済みか確認

デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、こちら からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/>

➤ サーバーの日時を確認

デヂエ をインストールするサーバーの日時が正しいか、ご確認ください。サーバーの日時を元に、ライセンスのチェックを行います。日時が正しくないと、ご使用に支障をきたす場合があります。

➤ Web サーバーがインストール済みか確認

※ Web サーバー とは、ブラウザからの要求に応じて HTTP データ (ホームページのデータ) を提供するサーバーソフトです。デヂエ を使用する際には必須となります。

〈 ! 〉サーバーマシンに、Web サーバー がインストール済みでなければ、43 ページを参照し、ご希望の Web サーバーをインストールしてください。デヂエ のアーカイブに付属している「サイボウズ Web サーバー」をお使いの場合は、デヂエ のインストール中にあわせてインストールできます。

■ インストーラーを起動する

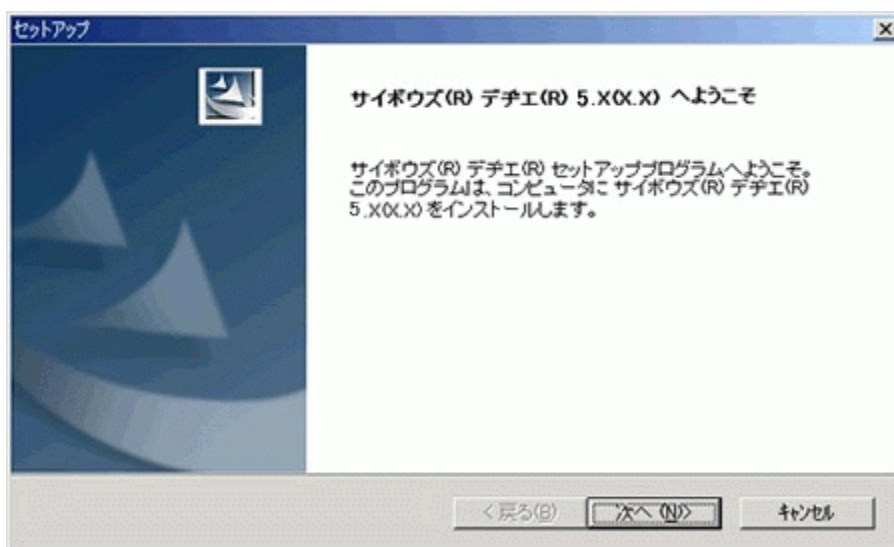
デヂエ の新規インストール手順をご案内します。

インストール時の必要事項は、以下のとおりです。

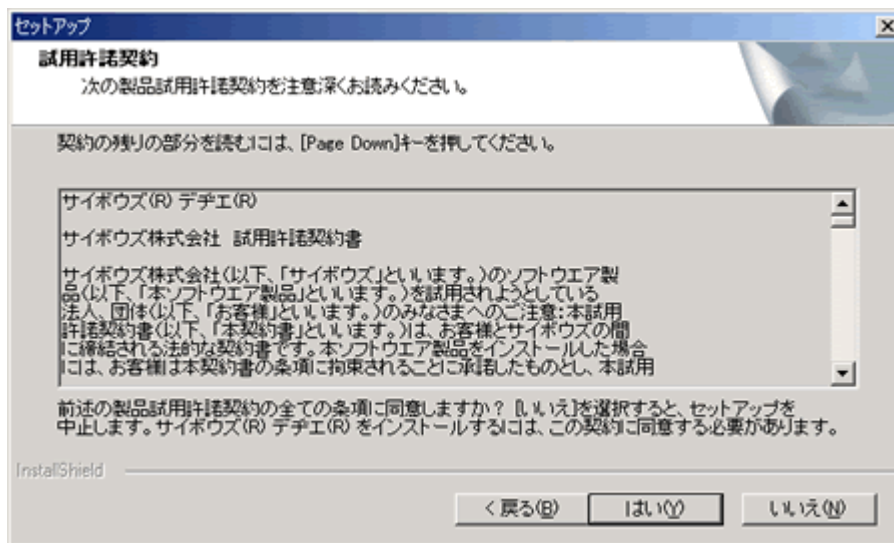
- Administrator 権限でログインし、インストールしてください。
- サーバマシンを再起動してからインストールを実行されるようお願いいたします。
(起動しているアプリケーションの状況によって、インストールが正常に行われない場合があります)
- インストール先のドライブの空き領域は、20,000,000 byte (約 20 MB) よりも多い必要があります。

1. ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックしてインストーラーを起動し、

次へ (N)> を押す



2. 使用許諾書内容をご確認いただき、契約に同意される場合には **はい** を押す

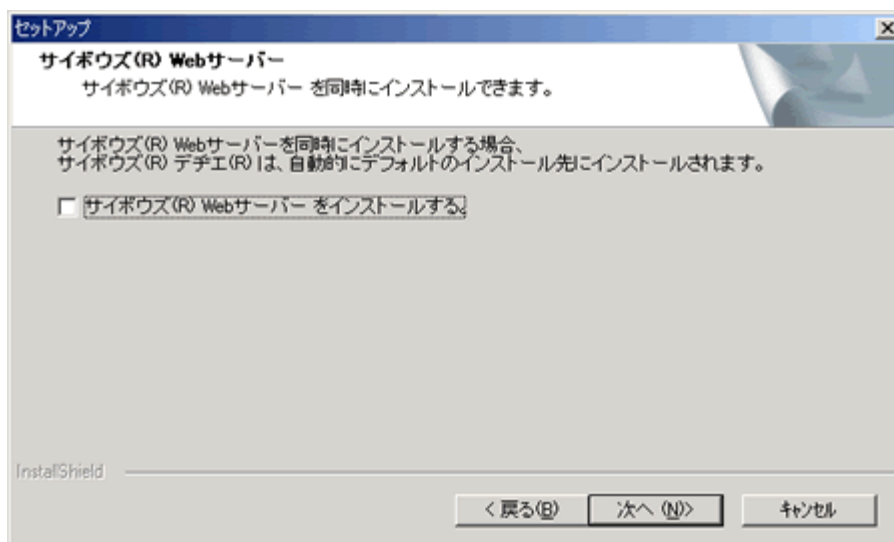


■ インストールの開始


1. インストールするマシンで Web サーバーが動作しておらず、さらに「サイボウズ Web サーバー」がインストールされていない場合は、以下が表示されます。「サイボウズ Web サーバー」をインストールする場合はチェックをして **次へ(N)>** を押します。

〈!〉サイボウズ Web サーバー を一緒にインストールすると、デヂエ は以下にインストールされ、設定を変更することはできません。

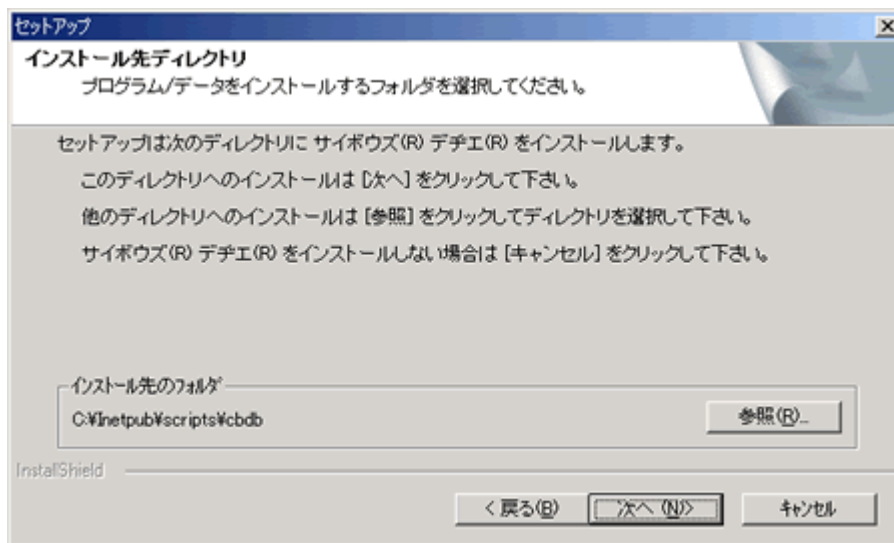
- ホームディレクトリ __ C:\inetpub\wwwroot
- インストールディレクトリ __ C:\inetpub\scripts\cbdb



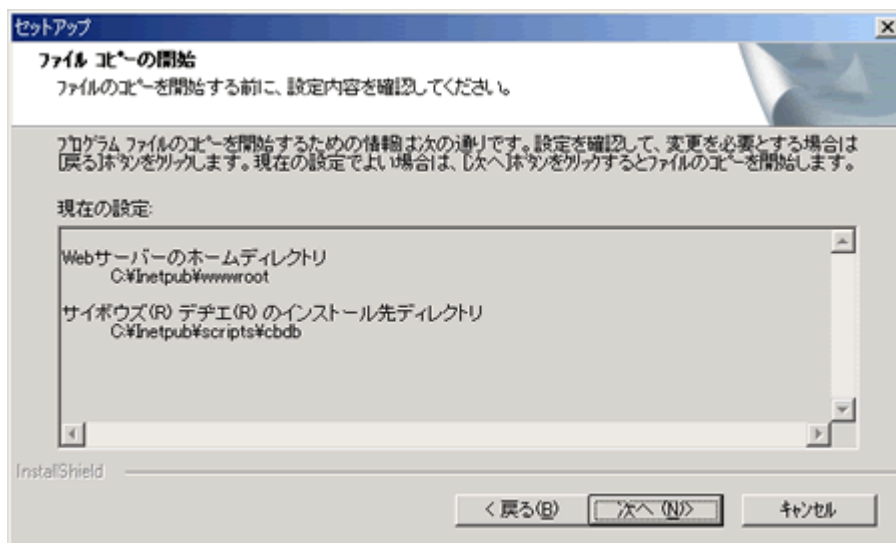
2. ホームディレクトリを設定し、 **次へ (N) >** を押す
 1. 使用する Web サーバー のホームディレクトリの位置を指定します。
 2. 通常のホームディレクトリの位置は、**C:\inetpub\wwwroot** です。
- ※ Windows 用 Apache の場合は 52 ページを参照してください。

| | |
|---|---|
|  <p>ONE POINT</p> | <p>▶ ホームディレクトリとは</p> <p>ホームページのデータが入るトップのディレクトリで、Web サーバー固有のディレクトリです。 ドキュメントルートともいいます。</p> |
|---|---|

3. インストール先を選択し、 **次へ (N) >** を押す
 インストール先の初期値は、 **C:\inetpub\scripts\cbdb** です。
 ※ Windows 用 Apache の場合は 52 ページを参照してください。
 ※ インストール先を C:\inetpub\scripts 配下以外にした場合は、仮想ディレクトリの
 新規作成が必要です。仮想ディレクトリの詳細は、 101 ページを参照してください。




4. 表示された設定内容が正しければ **次へ (N)>** を押し、インストールを開始する
 ※インストールが始まります



5. インストール終了後、アクセス URL の情報が表示されます。内容を確認し、**OK** を押す

< ! > インストールディレクトリを「cbdb」以外にした場合は、上記メッセージは表示されません。インストール終了後、デヂエの動作確認を行うために、以下でご案内している URL へアクセスしてください。



| | |
|---|---|
|  | <p>▶ デヂエ のアクセス URL</p> <p>デヂエ を利用する際にアクセスする URL は、以下のとおりです。</p> <p>http://(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名)/scripts/cbdb/db.exe?</p> <p>IP アドレス 入力例) http://10.0.0.1/scripts/cbdb/db.exe?</p> <p>サーバー名入力例) http://bozuman.co.jp/scripts/cbdb/db.exe?</p> |
|---|---|



■ 動作確認

1. デヂエ のサーバーの日時確認画面が表示されます。

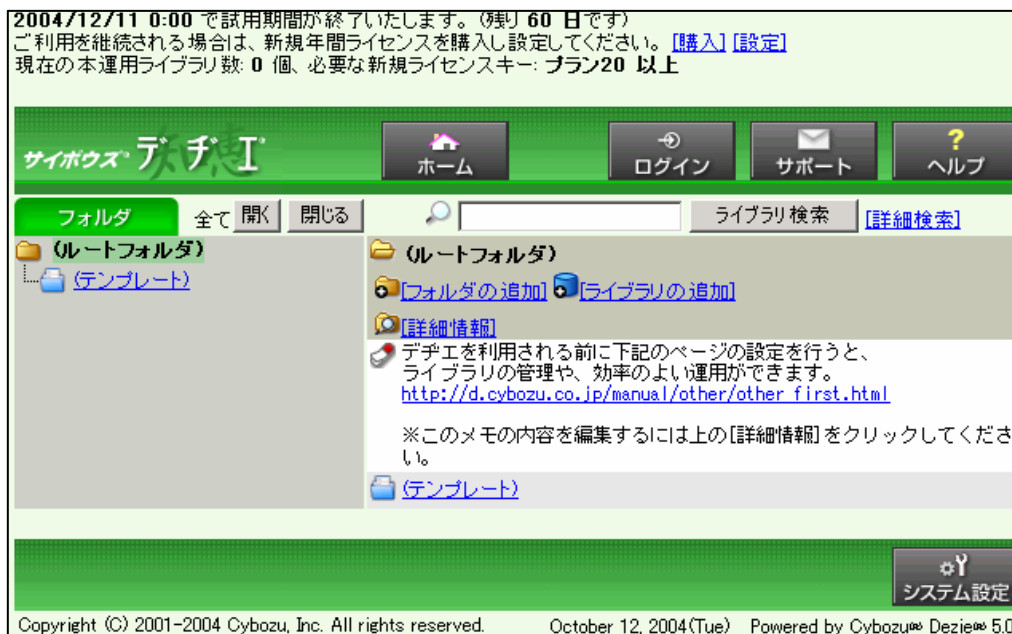
サーバーの日時が正しい場合は、**利用開始** を押してください。

※ サーバーの日時は、常に製品の左下に表示されています。定期的にご確認ください。



- 〈！〉サーバーの日時が間違っている場合、ご使用に支障をきたし、ご使用できなくなる場合がございます。サーバーOSの日時を修正し、再度アクセスしてください。

2. デヂエ の画面が表示されます。



< ! > インストール先を変更されている (C:\inetpub\scripts\cbddb 以外) 場合は、 **利用開始** を押しても デヂエ が うまく表示されないことがあります。これには、大きく 2 つの原因が考えられます。

- サーバーのホスト名、ディレクトリ、ファイル名などが正しく入力されていない
- CGI を実行できるディレクトリではない

まず、サーバー名やディレクトリ、ファイル名が間違っていないかを確認してください。それでもうまく表示できない時は、仮想ディレクトリの設定を確認する必要があります。仮想ディレクトリの詳細は、 101 ページを参照してください。



新規インストール (UNIX)

デヂエ 5.0 UNIX 版のインストール方法をご案内します。

■ インストール前の確認

インストール時に若干の UNIX コマンドを利用します。UNIX シェル環境での作業経験がない方は、サーバー (UNIX) のシステム管理者に協力を依頼してください。

➤ 動作環境を確認

貴社のネットワーク環境で利用いただけるかを、こちらのページでご確認ください。

http://d.cybozu.co.jp/review/dousa_kankyo.html

➤ ダウンロード済みか確認

デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、こちら からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/download/>

➤ サーバーの日時を確認

デヂエ をインストールするサーバーの日時が正しいか、ご確認ください。サーバーの日時を元に、ライセンスのチェックを行います。日時が正しくないと、ご使用に支障をきたす場合があります。

➤ Web サーバーがインストール済みか確認

※ Web サーバー とは、ブラウザからの要求に応じて HTTP データ (ホームページのデータ) を提供するサーバーソフトです。デヂエ を使用する際には必須となります。

〈 ! 〉サーバーマシンに、Web サーバー がインストール済みでない場合、デヂエ UNIX 版では、Apache 1.3 以降に対応致しております。Apache1.3 以降のバージョンをインストールください。



■ アーカイブの展開

1. スーパーユーザーになる

su コマンドにて root 権限でのログインを行います。(“ -” をつけるようにしてください)

```
> su -
```

2. ダウンロードしたファイルを適切なディレクトリに置き、そのディレクトリに移動します

ここでは、/tmp にファイルを置いた場合を想定して説明いたします。

ダウンロードサイトからダウンロードしたファイル名は、以下とします。

- cbdz50jal.tar.gz (Linux 版)
- cbdz50jaf.tar.gz (FreeBSD 版)
- cbdz50jas.tar.Z (Solaris 版)

《 Linux 版の場合 》 ※ アーカイブ名の箇所には FreeBSD 版は「 cbdz50jaf.tar.gz 」、Solaris 版は「 cbdz50jas.tar.Z 」を指定してください。

ダウンロードしたファイルを /tmp にコピーします

```
> cp cbdz50jal.tar.gz /tmp
```

/tmp に移動します

```
> cd /tmp
```



3. アーカイブを展開する

GNU tar コマンド（もしくは gzip コマンドと tar コマンド）、または uncompress コマンドを用いて、以下の様にアーカイブを展開します。

《 Linux 版の場合 》

i) gnu tar の場合

```
> tar zxvf cbdz50jal.tar.gz
```

ii) gzip と通常の tar の場合

```
> gzip -cd cbdz50jal.tar.gz | tar xvf -
```

《 FreeBSD 版の場合 》

i) gnu tar の場合

```
> tar zxvf cbdz50jaf.tar.gz
```

ii) gzip と通常の tar の場合

```
> gzip -cd cbdz50jaf.tar.gz | tar xvf -
```

《 Solaris 版の場合 》

iii) uncompress 通常の tar の場合

```
> uncompress cbdz50jas.tar.Z
```

```
> tar xvf cbdz50jas.tar
```

4. 展開すると、“cbdzsetup”、“cbdzINSTALL.txt” ファイルと、“cbdztmp” ディレクトリが作成されますので、正しく展開できていることを確認します。

ls コマンドを使用して、ディレクトリとファイルが存在していることを確認してください。（“-l”（エル）を付けてください）

```
> ls -l
-rw-r--r-- 1 nobody cybozu 8580 Oct 12 12:00 cbdzINSTALL.txt
-rwxr--r-- 1 nobody cybozu 25328 Oct 12 12:00 cbdzsetup
drwxr-xr-x 8 nobody cybozu 512 Oct 12 12:00 cbdztmp
```

■ インストーラーの実行

1. インストーラーを実行する

アーカイブを展開したディレクトリで、cbdsetup を実行します。

```
> ./cbdsetup
```

2. 日本語が表示できるかの確認

日本語が表示されている場合は、Y (y) キー を押してから、Enter キー を押します。

この行が日本語で表示されたら y を入力してください。 (※)

Can you read the above text in Japanese ? ([y]/n) :

(※) ここの日本語が文字化けしている場合は、英語表示モードのインストールとなります。N (n) を押してから、Enter キーを押してください。

| | |
|--------------|---|
| 日本語 表示モード | ソフトウェア試用許諾契約書を表示します。必ずお読みください。同意される場合は、Enter キーを押して、次の画面を表示します。 |
| 英語 表示モード | インストール前に以下のファイルを必ずお読みください。同意される場合は、Y (y) を押してから、Enter キーを押してください。 |

3. 試用許諾契約書への同意の確認

Enter キー あるいは Y (y) キー を押します。

サイボウズ (R) デヂエ (R) インストーラ

この度はサイボウズ (R) デヂエ (R) を御利用いただきまして誠にありがとうございます。
このインストーラは、サイボウズ デヂエ 5.x(x.x) をインストールします。

サイボウズ デヂエ のインストールには、試用許諾契約書への同意が必要です。

— Enter を押してください —

Cybozu (R) Dezie (R) Setup Program
Thank you for using Cybozu (R) Dezie (R) .
This Setup Program will install Cybozu Dezie 5.x(x.x).

You need to accept "LICENSE" before installing this application.

Please read the following a document before going further.

////////////////////////////////////

LICENSE:
/tmp/cbdztmp/execute/LICENSEDEZIE
////////////////////////////////////

If you do not accept it, this setup program will close.
To install Cybozu Dezie, you must accept the document.

Do you accept all the terms of the document?
Y:Yes / N:No / Q:Quit :



- (※) ここで、以下の Web サーバーの起動ユーザーを聞かれた場合は、インストーラーが Web サーバーの起動ユーザーを探せなかった場合です。77 ページの補足をご参考に、Web サーバーの起動ユーザーを調べた後、ご記入ください。

===== Web サーバー起動ユーザー名の入力 =====

Web サーバーを起動しているユーザー名を入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

Web サーバーの実行権限をもつユーザー名 :

===== Entering the user name for invoking Web server =====

Enter the user name for invoking Web server, and press Enter.

(Q: Quit)

User Name for launching Web server :



(※) ここで、日本語表示モードの場合は、試用許諾契約書が表示されます。

[F] キーを押して試用許諾契約書をすべてお読みいただき、Y (y) キーを押します。

サイボウズ(R) デヂエ(R)

サイボウズ株式会社 試用許諾契約書

サイボウズ株式会社（以下、「サイボウズ」といいます。）のソフトウェア製品（以下、「本ソフトウェア製品」といいます。）を試用されようとしている法人、団体（以下、「お客様」といいます。）のみなさまへのご注意：本試用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、お客様とサイボウズの間締結される法的な契約書です。本ソフトウェア製品をインストールした場合には、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾したものとし、本試用許諾契約（以下、「本契約」といいます。）が成立したものとみなされます。

（ 中 略 ）

8. その他

お客様が入手した本ソフトウェア製品に、本契約と異なる条項の試用許諾契約および条件が添付されている場合は、サイボウズによって特に本契約と異ならしめるものと明記してあるものを除き、お客様による本ソフトウェア製品の試用には、本試用許諾契約が優先して適用されるものとします。本契約は、両当事者間の試用許諾に関する唯一の合意であり、両当事者の署名ないし記名押印ある書面によってのみ、変更することができます。また、販売店等がお客様に対して用意している注文書に記載されている条件は、本契約に対して効力を持たず、本契約内容にいささかの影響をもあたえるものではありません。

LI_DZ_030909

Y: 同意する/ N: 同意しない（中止する）/ [F]: 次のページ:



■ ドキュメントルートディレクトリの設定

===== ドキュメントルートディレクトリの確認 =====

(ドキュメントルートディレクトリ)/cbdb にイメージファイル等が格納されます。

/var/www/html

このディレクトリはドキュメントルートディレクトリとして設定されていますか？

[Y]: はい / N: いいえ(別ディレクトリを設定) / Q: インストールの中止 :

===== Confirming DocumentRoot Directory Location =====

Image files etc. are installed in "cbdb" directory under a DocumentRoot directory.

/var/www/html

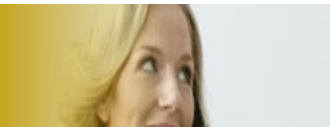
Is this directory a DocumentRoot directory in the current settings?

[Y]: Yes / N: Select Different Directory / Q: Quit :

※ ドキュメントルートディレクトリ

ホームページのデータが入る一番トップのディレクトリで、Web サーバー固有のディレクトリです。

(※) ここで、以下のようにドキュメントルートディレクトリの記入を求められた場合は、インストーラーが ドキュメントルートディレクトリを探せなかった場合です。77 ページの補足を参照の上、ご使用の Web サーバーのドキュメントルートディレクトリを調べた後、ご記入ください。



===== ドキュメントルートディレクトリの入力 =====

(ドキュメントルートディレクトリ)/cbdb にイメージファイル等が格納されます。

ドキュメントルートのディレクトリを入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

ドキュメントルートディレクトリ :

===== Entering Document Root Directory Name =====

Image files etc. are installed in a "cbdb" directory under a DocumentRoot directory.

Enter the document root directory name, and press Enter.

(Q: Quit)

Document Root Directory :

■ インストール先ディレクトリの設定

インストール先ディレクトリにおいて、インストール実行前に以下の注意事項をご確認ください。

```
===== インストールディレクトリの確認 =====  
  
/var/www/cgi-bin/cbdb  
  
このディレクトリをインストール先にしてよろしいですか？  
[Y]: はい / N: 別ディレクトリを設定 / Q: インストールの中止 :
```

```
===== Confirming Install Directory Location =====  
  
/var/www/cgi-bin/cbdb  
  
To install files in this directory, press Enter. To install files in a different  
directory, Press N.  
[Y]: Yes / N: Select Other Directory / Q: Quit :
```

デヂエ をインストールするディレクトリを設定します。
通常は、CGI 実行可能ディレクトリ配下 /cbdb にインストール先のディレクトリを指定
します。
問題が無ければ、Enter キーを押して次の設定に進みます。



(※) ここで、以下のようにインストール先ディレクトリを聞かれる場合や、表示された以外のインストール先ディレクトリを指定したい場合は 77 ページの補足を参照の上、インストール先ディレクトリを指定してください。

===== インストールディレクトリの入力 =====

インストール先のディレクトリを入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

インストール先ディレクトリ :

===== Entering Install Directory Name =====

Enter the install directory name, and press Enter.

(Q: Quit)

Install Directory :



■ インストール実行の確認

次の画面でインストール情報が表示されますので、インストール実行を確認してください。

```
===== インストールの確認 =====  
  
ドキュメントルートディレクトリ : /var/www/html  
  
インストール先ディレクトリ      : /var/www/cgi-bin/cbdb  
  
以下の製品をインストールします。  
  
サイボウズ (R) デヂエ (R) 5. x(x. x)  
  
インストールを実行します。よろしいですか？  
Y: インストール実行 / N: ディレクトリ選択に戻る / Q: インストールの中止 :
```

```
===== Starting Installation =====  
  
DocumentRoot Directory : /var/www/html  
  
Install Directory : /var/www/cgi-bin/cbdb  
  
Setup will install the following application.  
  
Cybozu (R) Dezie (R) 5. x(x. x)  
  
Enter Y to start installing files.  
Y: Start Installing / N: Back to Selection of Applications / Q: Quit :
```

問題が無ければ、Y(y) + Enter キー を押して、インストールを実行します。



■ インストールの実行

インストールが実行されます。

ディレクトリを作成しています...

実行ファイルをコピーしています...

イメージファイルをコピーしています...

(イメージファイルは必ず上書きされます)

モジュールファイルをコピーしています...

(既にテンプレートファイルがあった場合)

テンプレートファイルのバックアップを実行しています...

テンプレートファイルをコピーしています...

データファイルをコピーしています...

ディレクトリの所有者を変更しています...

Making Directory...

Copying Executable Files...

Copying Image Files...

(イメージファイルは必ず上書きされます)

Copying Module Files...

(既にテンプレートファイルがあった場合)

Performing the backup of the Template Files...

Copying Template Files...

Copying Data Files...

Changing owner of the install directory...

■ README と LICENSE の保存場所の表示

試用許諾書と README ファイルが保存されたディレクトリを表示します。

```
サイボウズ (R) デヂエ (R) 5.x(x.x) のインストールが終了しました。
ご使用前に README をお読みください。

-----

試用許諾契約書, README のファイルパスは以下の通りです。

試用許諾契約書 :
/var/www/cgi-bin/cbdb/LICENSEDEZIE

README :
/var/www/cgi-bin/cbdb/READMEDEZIE

-----
```

```
Installation of Cybozu (R) Dezie (R) 5.x(x.x) is complete.
Please read the documents below carefully before using the software.
////////////////////////////////////
LICENSE, README
files can be found in :

LICENSE:
/var/www/cgi-bin/cbdb/LICENSEDEZIE

README:
/var/www/cgi-bin/cbdb/READMEDEZIE
////////////////////////////////////
```

これでインストール作業は終了です。



■ 動作確認

1. README、試用許諾書を再度確認ください

README 及び LICENSE (試用許諾書) はインストールディレクトリに保存されています。再度、内容をご確認ください。

2. 近くのパソコンからアクセスする

デチエ を、/var/www/cgi-bin/cbdb にインストールされた方は、ブラウザ (InternetExplorer、NetscapeNavigator など) を起動し、アドレスを下記のように入力してアクセスしてください。

[http://\(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名\)/cgi-bin/cbdb/db.cgi?](http://(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名)/cgi-bin/cbdb/db.cgi?)

「サーバーの IP アドレスまたはサーバー名」には、「サーバーの IP アドレス (例 : 10.0.0.1)」または「サーバー名 (例 : bozuman.cybozu.co.jp)」を入力します。

IP アドレス 入力例) <http://10.0.0.1/cgi-bin/cbdb/db.cgi?>

サーバー名 入力例) <http://nobody.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbdb/db.cgi?>

アクセスすると、サーバーの**日時確認画面**が表示されます。

※ サーバーの日時が間違っている場合、ご使用に支障をきたし、ご使用できなくなる場合がございます。もし、間違っている場合には、サーバーOS の日時を修正し、再度アクセスしてください。サーバーの日時が正しい場合は、**利用開始** を押してください。

サーバーの日時は、製品の左下に常に表示されています。時々ご確認ください。

〈!〉 うまく表示されない場合インストール先を変更された方は、ランチャー画面が表示されない場合があります。これには、大きく 2 つの原因が考えられます。

- サーバーのホスト名、ディレクトリ、ファイル名などが正しく入力されていない
- CGI を実行できるディレクトリではない

UNIX版 新規インストールの補足

UNIX 版 新規インストール時の補足を、以下にご案内します。

■ Web サーバーの起動ユーザー

Web サーバーを起動しているユーザー名をインストーラーがつけられなかった場合、Web サーバーの起動ユーザー名を設定する必要があります。

```
===== Web サーバー起動ユーザー名の入力 =====
```

Web サーバーを起動しているユーザー名を入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

Web サーバーの実行権限をもつユーザー名 :

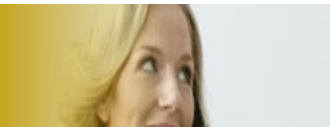
```
===== Entering the user name for invoking Web server =====
```

Enter the user name for invoking Web server, and Press Enter.

(Q: Quit)

User Name for invoking Web server :

設定されたユーザーが、デジエ インストールディレクトリ、ドキュメントルートディレクトリの所有者になります。



Web サーバーの起動ユーザー名は、以下コマンドにて確認できます。

Web サーバープロセス名が httpd だった場合 (他の名前の場合もあります)

i) Linux 版, FreeBSD 版の場合

```
> ps aux | grep httpd
```

ii) Solaris 版の場合

```
> ps -ef | grep httpd
```

(結果)

```
nobody 5235 0.0 1.9 540 576 ?? | 30Nov99 0:00.25 httpd
:
:
```

一番初めの項目に表示されるのが Web サーバーの起動ユーザー名です。この場合、nobody が、Web サーバー の起動ユーザー名となります。

「 Web サーバー起動ユーザー名の入力 」 画面で入力してください。

この時、root もユーザー名として表示されることがありますが、root は起動ユーザー名として設定しないようにしてください。

■ ドキュメントルートディレクトリの設定

インストーラでの初期設定外のディレクトリをドキュメントルートディレクトリに指定した場合 (ドキュメントルートディレクトリの確認画面で、N (n) キーを押した場合)、または、インストーラがドキュメントルートディレクトリを見つけられなかった場合は、手動でドキュメントルートディレクトリを設定します。

===== ドキュメントルートディレクトリの入力 =====

ドキュメントルートのディレクトリを入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

ドキュメントルートディレクトリ :

===== Entering Install Directory Name =====

Enter the document root directory name, and press Enter.

(Q: Quit)

Document Root Directory :



ドキュメントルートディレクトリを絶対パスで設定します。
存在しないディレクトリを指定した場合は、以下のエラーを表示して再度ドキュメントルートディレクトリを入力する画面に戻ります。

ディレクトリの指定が不正です。ディレクトリパスを確認して再度入力してください。

The named directory is invalid. After confirming the directory path, enter the right directory.

■ インストールディレクトリの変更

インストーラーでの初期設定外のディレクトリをインストール先に指定した場合（インストール先ディレクトリの確認画面で、N（n）キーを押した場合）、または、インストーラーが実行可能ディレクトリを見つけられなかった場合は、手動でインストール先ディレクトリを設定します。

他のアプリケーションと区別するためにも cgi 実行可能ディレクトリ/cbdb を デヂエのインストール先ディレクトリに指定することをお勧めします。

===== インストールディレクトリの入力 =====

インストール先のディレクトリを入力して Enter を押してください

(Q: インストールの中止)

インストール先ディレクトリ :

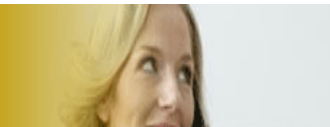
===== Entering Install Directory Name =====

Enter the install directory name, and press Enter.

(Q: Quit)

Install Directory :

インストール先のディレクトリは、絶対パスで設定してください。



存在しないディレクトリを指定した場合は、ディレクトリを作成するかを確認します。

指定されたディレクトリは存在しません。ディレクトリを作成しますか？

Y: はい / N: いいえ :

The named directory does not exist. Would you like to create this directory?

Y: Create Directory / N: Select Different Directory :

Y(y) + Enter キー を押すと、指定したディレクトリを作成して、次の設定に移ります。
この時、以下の条件でディレクトリの作成に失敗することがあります。

- 指定したディレクトリの、親ディレクトリが存在しない場合

ディレクトリの指定が不正です。ディレクトリパスを確認して再度入力してください。

The named directory is invalid. After confirming the directory path, enter the right directory.

- (アーカイブを展開したディレクトリ)/cbdbtmp ディレクトリを指定した場合

ディレクトリが作成できませんでした。親ディレクトリのパスを確認して再度入力してください。

The directory can not be created. After confirming the directory path, enter the right one.

ディレクトリの作成に失敗した場合、上記エラーメッセージを表示し、インストールディレクトリ入力の画面に戻ります。



Sun Cobalt 版インストール

デヂエ Sun Cobalt 版のインストール方法をご案内します。

■ Sun Cobalt Qube3/Sun Cobalt Qube3 Plus/MMQUBE2

➤ ダウンロード済みか確認

デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、こちら からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/download/>

1. Web ブラウザから管理者 (admin) でログインし、BlueLinQ の画面を表示する
2. 画面左側の [新規ソフトウェア] を選択し、[手動でインストール] をクリックする
3. ダウンロードしたファイルを指定する
4. [インストールの準備を開始する] ボタンをクリックする
5. [インストール] ボタンをクリックし、ライセンス画面で [合意する] をクリックする

→ インストールが実行されます。

インストールが完了すると、[プログラム] タブにメニューが追加されます。

製品名のメニューをクリックすると、実際の製品画面が別ウィンドウで開きますので URL をご確認ください。(URL : [http://\(サーバー名または IP アドレス \)/cbdb/db.cgi](http://(サーバー名またはIPアドレス)/cbdb/db.cgi))



▶ 注意

- ・ FrontPage サーバエクステンションが有効になっていると正常に動作しません。
- ・ [ウェブサービス>ウェブの設定]画面で、CGI アクセスが許可されている必要があります。

※インストール方法についての詳細は、Cobalt Qube3/Cobalt Qube3 Plus/MMQUBE2 に付属のマニュアルをご参照ください。


■ Sun Cobalt RaQ4

➤ ダウンロード済みか確認

デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、 [こちら](http://d.cybozu.co.jp/download/) からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/download/>

1. Web ブラウザから管理者（admin）でログインし、画面左側の [保守] をクリックする
2. 画面上部の [ソフトウェアのインストール] をクリックする
3. ダウンロードしたファイルを指定する
4. 「このパッケージをインストールしてよろしいですか？」 ダイアログが表示されるので [OK] を押す

| | |
|---|---|
|  | <p>▶ 注意</p> <ul style="list-style-type: none">・ FrontPage サーバエクステンションが有効になっていると正常に動作しません。・ メインサイトにインストールされます。また、メインサイトの [サイトの管理>サイトの設定] 画面で、[CGI スクリプトを有効にする] がチェックされている必要があります。 |
|---|---|


※インストール方法についての詳細は、Cobalt RaQ4 に付属のマニュアルをご参照ください。

バージョンアップ (Windows)

デヂエ 4.0 以前のバージョンから 最新版の デヂエ 5.0 にバージョンアップする手順をご案内します。

■ バージョンアップ前の確認

バージョンアップの前に、現在お使いの「デヂエ」がどのディレクトリにインストールされているかをご確認ください。ここでは、デヂエ 4.0 から、最新版のデヂエ 5.0 にバージョンアップする手順を説明します。

1. デヂエ 4.0 にシステム管理者としてログインする
2. 画面右下のシステム設定  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. [サイボウズ デヂエ の実行環境の診断] をクリックする
5. 『 Dir 』 の値を確認し、控える

■ バックアップ

アンインストールしてもデータは削除されません。ただし、念のためバックアップをお取りください。※ 弊社では、データの紛失等のトラブルに対する保証は、一切行っておりません。予めご了承ください。

バックアップ対象ディレクトリ

- デヂエインストールディレクトリ/data ディレクトリ
- デヂエインストールディレクトリ/file ディレクトリ

※「バージョンアップ前の確認」で確認した『 Dir 』の値が、デヂエのインストールディレクトリです。このディレクトリ配下の上記2つのディレクトリを、別ディレクトリもしくは、CD-R、MO などの外部媒体にコピーしてください。

〈!〉デヂエ インストールディレクトリ/page ディレクトリには、デヂエのテンプレートファイルが格納されています。バージョンアップ後に、以前のバージョンのテンプレートファイルを戻すと、正常に動作しない可能性があります。page ディレクトリを戻すことは、お控えください。

■ メンテナンス時間の設定 ※デヂエ 4.0 からの機能になります

バージョンアップ中に、ユーザーが「デヂエ」にアクセスできないように、デヂエ 4.0 で、メンテナンス時間を設定してください。

～ 操作方法 ～

システム設定>メンテナンス時間の設定 にて、メンテナンスを行う時刻と、画面に表示させるメッセージを登録する

〈!〉バージョンアップ後に、メンテナンス時間の解除をするために、ブラウザは閉じないでください。メンテナンス時間の詳細は、41 ページをご覧ください。

■ デヂエのダウンロード


デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、こちら からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/download/download/>

■ デヂエのインストール

「バージョンアップ前の確認」で確認した『Dir』ディレクトリと同じディレクトリにインストールしてください。

■ 動作確認

バージョンアップが正常に行われたか、「デヂエ」にアクセスし、を押してヘルプ画面を表示させ、バージョン番号が最新のバージョンになっているか、確認してください。最新のバージョン情報はこちらで確認できます。

http://d.cybozu.co.jp/download/form/d06_1.cbml

また、正常に動作するか、以前のデータが残っているか、もご確認ください。

〈!〉デヂエ にバージョンアップしたにも関わらず、デヂエ 4.0 以前のバージョンのアイコンが表示されることがあります。この原因として、クライアントマシンのブラウザのキャッシュに デヂエ 4.0 以前のバージョンの画像が残っているため、正しく表示されないことが考えられます。

FAQ (<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&rid=356>)

を参考にいただき、キャッシュのクリアをお試しください。


〈!〉バージョンアップ後に、デヂエ 5.0 にてメンテナンス時間の解除ができず、動作確認ができない場合は、サポートセンター (<http://d.cybozu.co.jp/support/form/index.html>) までお問い合わせください。

バージョンアップ (UNIX)

デチエ 4.0 以前のバージョンから 最新版の デチエ 5.0 にバージョンアップする手順をご案内します。

■ バージョンアップ前の確認

バージョンアップの前に、現在お使いの「デチエ」がどのディレクトリにインストールされているかをご確認ください。ここでは、デチエ 4.0 から、最新版のデチエ 5.0 にバージョンアップする手順を説明します。

1. デチエ 4.0 にシステム管理者としてログインする
2. 画面右下のシステム設定  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. [サイボウズ デチエ の実行環境の診断] をクリックする
5. 『 Dir 』 の値を確認し、控える

■ バックアップ

バージョンアップしても、データは削除されません。但し、念のためバックアップをお取りください。※ 弊社では、データの紛失等のトラブルに対する保証は、一切行っておりません。予めご了承ください。

バックアップ対象ディレクトリ

- デチエインストールディレクトリ/data ディレクトリ
- デチエインストールディレクトリ/file ディレクトリ

※ 「バージョンアップ前の確認」で確認した 『 Dir 』 の値が、デチエ のインストールディレクトリです。このディレクトリ配下の上記2つのディレクトリを、別ディレクトリもしくは、CD-R、MO などの外部媒体にコピーしてください。

〈!〉 デチエ インストールディレクトリ/page ディレクトリには、デチエ のテンプレートファイルが格納されています。バージョンアップ後に、以前のバージョンのテンプレートファイルを戻すと、正常に動作しない可能性があります。page ディレクトリを戻すことは、お控えください。

■ メンテナンス時間の設定 ※デヂエ 4.0 からの機能になります

バージョンアップ中に、ユーザーが「デヂエ」にアクセスできないように、メンテナンス時間を設定してください。

～ 操作方法 ～

システム設定>メンテナンス時間の設定 にて、メンテナンスを行う時刻と、画面に表示させるメッセージを登録する

〈!〉バージョンアップ後に、メンテナンス時間の解除をするために、ブラウザは閉じないでください。メンテナンス時間の詳細は、41 ページをご覧ください。

■ デヂエのダウンロード


デヂエ がダウンロードされていることをご確認ください。ダウンロードされていない場合は、こちら からダウンロードしてください。

<http://d.cybozu.co.jp/download/>

■ デヂエのインストール

「バージョンアップ前の確認」で確認した『Dir』ディレクトリと同じディレクトリにインストールしてください。

■ 動作確認

バージョンアップが正常に行われたか、「デヂエ」にアクセスし、 を押してヘルプ画面を表示させ、バージョン番号が最新のバージョンになっているか、確認してください。最新のバージョン情報はこちらで確認できます。

http://d.cybozu.co.jp/download/form/d06_1.cbml

また、正常に動作するか、以前のデータが残っているか、もご確認ください。

〈!〉デヂエ にバージョンアップしたにも関わらず、デヂエ 4.0 バージョン以前のアイコンが表示されることがあります。この原因として、クライアントマシンのブラウザのキャッシュに デヂエ 4.0 バージョン以前の画像が残っているため、正しく表示されないことが考えられます。

FAQ (<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&diid=52&rid=356>)

を参考にしていただき、キャッシュのクリアをお試しください。

〈!〉バージョンアップ後に、デヂエ 5.0 にてメンテナンス時間の解除ができず、動作確認ができない場合は、サポートセンター (<http://d.cybozu.co.jp/support/form/index.html>) までお問い合わせください。



メールサーバーの設定

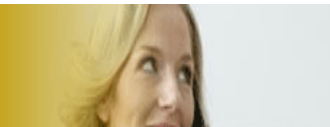
ライブラリへの様々な更新情報を、関係者にメールで通知することができます。

メール通知機能を利用する場合は、事前にシステム管理者がメールサーバーの設定を行う必要があります。設定する内容は以下のとおりです。

- 差出人のアドレス
- 送信メールサーバー名 (SMTP)
- POP before SMTP に対応させるかの設定
 - └ 送信までの待ち時間 (初期値は 0 秒)
 - └ 受信メールサーバー名 (POP3)
 - └ POP3 のアカウント名


■ メールサーバーの設定方法

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下のシステム設定  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
システム管理者は全画面の右下に  ボタンが表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [メールサーバーの設定] をクリックする
「メールサーバーの設定」画面が表示されます。
6. 各項目を設定する
 - 通知メール差出人アドレス
通知メールを送信する差出人のメールアドレスを入力してください。(必須項目)
 - 送信メールサーバー名 (SMTP)
送信メールサーバー (SMTP) の IP アドレス、またはホスト名を入力してください。
(必須項目)



- POP 認証後に送信を行う (POP before SMTP)
- SMTP サーバーが POP before SMTP に対応している場合はチェックしてください。設定した場合は、以下も登録が必要です。
- 受信メールサーバー名 (POP3)
受信メールサーバー (POP3) の IP アドレス、またはホスト名を入力してください。
 - APOP 認証を行う
POP3 サーバーが APOP 認証に対応している場合はチェックしてください。
 - POP3 アカウント名
受信メールサーバー (POP3) へのアカウント名を入力します。
 - POP3 パスワード
受信メールサーバー (POP3) へのパスワードを入力します。
 - 送信までの待ち時間
POP 認証後にメールを送信するまでの時間を設定します。初期値は 0 秒です。

7. **変更する** ボタンを押す
「システム設定メニュー」画面に戻ります。

| | |
|---|---|
|  <p>ONE POINT</p> | <p>▶ メール通知機能を利用される場合に必要環境</p> <p>メール通知機能を利用する場合、別途 送信メールサーバー (SMTP) が必要になります。また、送信メールサーバーが POP before SMTP の認証を必要とする場合、受信メールサーバー (POP3) も必要になります。</p> <p>※ 以下の設定がなされているメールサーバーはご利用いただけません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AUTH コマンドのみでユーザー認証を行う送信 (SMTP) メールサーバー ・ ポート番号 25 以外を使用している送信 (SMTP) メールサーバー ・ ポート番号 110 以外を使用している受信 (POP3) メールサーバー <p>▶ POP before SMTP とは</p> <p>POP サーバーでユーザーのメールアカウントとメールパスワードを確認してから、メール送信を行う仕組みのこと。</p> |
|---|---|



バックアップ方法

デジエ には、バックアップ機能は未搭載です。大切なデータを守るために、常日頃、バックアップをお取りください。

■ デジエ のバックアップ

デジエ においてバックアップとして必要なデータは、以下の 2つのディレクトリに保存されています。

- (インストールディレクトリ) /data 以下すべてのファイル

例) C:\inetpub\scripts\cbdb\data 以下

- (インストールディレクトリ) /file 以下すべてのファイル

例) C:\inetpub\scripts\cbdb/file 以下

※ ファイルフィールドをご利用の場合にのみ、ディレクトリが作成されます。

この 2つのディレクトリを、MO、CD-R など、外部媒体にコピーすれば、バックアップファイルとなります。

上記 2つのディレクトリをバックアップすることで、ライブラリ および デジエ で管理しているユーザー・ライセンス情報等、すべての情報がバックアップできます。

■ バックアップしたファイルの復旧

- サーバーマシンがダウンした場合

1. 違うサーバーマシンに デジエ をダウンロード、インストールする
2. バックアップファイルを「 1. 」の デジエ インストールディレクトリ以下に、上書きコピーする

例)

新しくインストールした デジエ のディレクトリが、C:\inetpub\scripts\cbdb だった場合、バックアップの data/file 両ディレクトリを、C:\inetpub\scripts\cbdb に上書きコピーする。

※ ライセンスキーを、再び入力する必要はありません。バックアップデータの中に、ライセンスキー情報も保存されています。

- 特定のライブラリだけを復旧したい場合

1. 復旧したいライブラリの、ライブラリ ID を確認する
2. バックアップしたデータの中から、「 1. 」で確認したライブラリファイルを探す
3. 「 2. 」で探したバックアップデータを、サーバーマシンに戻す



ONE
POINT

▶ 上書きコピーするディレクトリ および ファイル

➤ バックアップファイル : data/db/ (ライブラリ ID) .dbm

例) data¥db¥123.dbm

↓

インストールディレクトリ/data/db に上書きコピーする

〈!〉必ずライブラリ ID ごとにバックアップデータに戻してください。(インストールディレクトリ)

/data 以下のすべてのファイルを上書きコピーすると、新規に登録したライブラリが閲覧できなく

なる、削除したライブラリが一覧に表示される等、デヂエ に不整合が生じる可能性があります。

バックアップファイル : file/db/ (ライブラリ ID) 以下のディレクトリおよびファイル (※ 1)

例) file¥db¥123 以下

↓

インストールディレクトリ/file/db に、123 のフォルダごと、上書きコピーする

※1 : ライブラリに添付ファイルを保存している場合にのみディレクトリが作成されます。

上記操作をした場合は、デヂエ にアクセスし、データが復旧できているか確認をお取りください。その際、ライブラリにレコードを登録できるか、レコードを編集できるか、を、確認してください。

※ 「 401 データファイルを開けません 」 が表示された場合は、FAQ をご覧ください。

Windows 版 FAQ

<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&qid=&vid=&rid=269>

UNIX 版 FAQ

<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&qid=&vid=&rid=257>



デヂエの移行方法

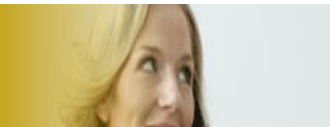
デヂエを別のサーバーに移行したい、あるいは、CドライブからDドライブに移行したい等の移行方法をご案内します。

以下の方法で移行すると、ライブラリ情報だけでなく、ファイルフィールドの添付ファイル、ユーザー情報、およびライセンス情報もあわせて移行できます。

※ デヂエのデータファイルはバイナリ形式ですので、サーバーOS変更によるデータ変換の必要はありません。例えば、Windows版で利用していたデータを、Linux版でも使用が可能です。

■ サーバー移行

1. 移行元サーバーの デヂエ のデータバックアップを取る
※ デヂエ のインストールディレクトリごと、MO など外部媒体にコピーされることをお勧めします。
2. 移行先サーバーに、最新の デヂエ をダウンロードする
3. 「 2. 」 のアーカイブをインストールする
4. データを移行する
➤ 移行対象は、移行前サーバーの以下のディレクトリです
 - デヂエ のインストールディレクトリ/data
 - デヂエ のインストールディレクトリ/file上記ディレクトリを、移行先サーバーの「 デヂエ のインストールディレクトリ 」 に上書きコピーします。
〈!〉 必ず、上書きコピーを行ってください。
5. 移行先サーバーの動作確認をする
移行先サーバーの URL にアクセスして、ライブラリが正常に動作することを確認してください。



6. 移行元サーバーのアンインストールとデータの削除を行う
データが正常に移行されていることを確認した後、移行前サーバーの デヂエ のアンインストール および データの削除を行ってください。
 - アンインストール
 - Windows 版
『 設定>コントロールパネル>アプリケーションの追加と削除 』 より デヂエ をアンインストールしてください。
 - UNIX 版
アンインストールは必要ありません。以下のディレクトリを削除してください。
 - 削除対象ディレクトリ
 - デヂエ のインストールディレクトリ
 - ドキュメントルートディレクトリ/cbdb/

■ ドライブ移行

- ※ C ドライブから D ドライブに移行する場合を想定して記載しています。
1. 移行元ドライブの デヂエ のデータバックアップを取る
※ デヂエ のインストールディレクトリごとバックアップされることをお勧めします。
 2. C ドライブの デヂエ をアンインストールする
『 コントロールパネル>「アプリケーションの追加と削除」 』 にて、C ドライブの デヂエ をアンインストールします。
〈!〉 この際、データは削除されません。
 3. D ドライブに最新の デヂエ をダウンロードする
 4. 「 3. 」 のアーカイブをインストールする
 - ホームディレクトリ：初期値で表示されている値のまま
 - インストールディレクトリ：例) D:¥cbdb※ ホームディレクトリに表示されるディレクトリは、Web サーバ側で予め設定されているディレクトリです。このディレクトリ以下には、 デヂエ で使用される画像ファイル等が保存されます。



5. 動作確認する

D ドライブの デヂエ にアクセスできるか、確認してください。

※ アクセス先の URL は 「 http:// (サーバーの IP またはホスト名)
/**/db.exe? 」 となります。このアドレスの 「 /** 」 の部分は、Web サーバーの
仮想ディレクトリ で設定した名称になります。

6. C ドライブのデータを D ドライブに上書きする

➤ 移行元ディレクトリ

- C ドライブの (デヂエ インストールディレクトリ) /data
- C ドライブの (デヂエ インストールディレクトリ) /file

↓

➤ 上書き対象ディレクトリ

- D ドライブの (デヂエ インストールディレクトリ)
〈 ! 〉 必ず、上書きコピーを行ってください。

7. 再度、動作確認する

データの移行完了後、以下 2 点を確認して、データ削除を行ってください。

- D ドライブの デヂエ の動作に問題がない
- C ドライブの デヂエ のデータが不要である

➤ 削除対象ディレクトリ

- C ドライブの (デヂエ インストールディレクトリ)

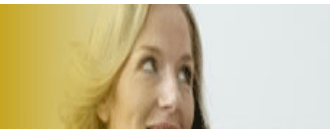
※ 「 401 データファイルを開けません 」 が表示された場合は、FAQ をご覧ください。

Windows 版 FAQ

<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&qid=&v id=&rid=269>

UNIX 版 FAQ

<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&qid=&v id=&rid=257>



▶ 仮想ディレクトリについて

インストールディレクトリを「C:\inetpub\scripts」配下以外に設定した場合は、Webサーバーにて、仮想ディレクトリを設定する必要があります。

例) ディレクトリ : D:\cbdb

仮想ディレクトリ : /dezie

※ 仮想ディレクトリ名（エイリアス）に「/cbdb」を指定することは控えてください。

仮想ディレクトリについての詳しい説明、設定方法については、101 ページを参照してください。



外部に公開する時の設定

デヂエ は、外部に公開しているサーバーで運用することも可能です。

ただし、デヂエ 自体に不正なアクセスを監視する機能や、データの保護機能は未搭載です。弊社では、デヂエ を外部に公開して利用される場合の対応として、以下をお勧めしています。

■ 運用面

デヂエ では、ユーザーとして登録されていない人でも利用することが可能です。登録ユーザー以外は、デヂエ にログインしなくても デヂエ を操作できる「ログイン前ユーザー」となります。

インターネット上に デヂエ を公開する場合は、ログイン前ユーザーの権限を制限しておくことをお勧めします。

- ログイン方法
 - 「ログイン名を入力する（インターネット向け）」に設定する
- システム管理者
 - 「ログイン前ユーザー」を外す
 - ※ インストール直後の状態では、システム管理者は [全員]（ログイン前ユーザーを含む）に設定されています。
- ライブラリ及びフォルダ運用権
 - ログイン前ユーザーには、ライブラリ、フォルダの作成権限を与えない設定にする
 - ※ インストール直後の状態では、ログイン前ユーザーもライブラリとフォルダを作成できます。
- 各ライブラリのライブラリ管理者
 - 「ログイン前ユーザー」を外す
 - ※ 新しくライブラリを作成した状態では、ライブラリ管理者は [全員]（ログイン前ユーザーを含む）に設定されています。



- アクセス権を設定する

※ 新しくライブラリ および フィールド等を作成した状態では、閲覧・編集等のすべての操作が [全員] (ログイン前ユーザーを含む) に許可されています。

■ 環境面

データの保護を強く求める場合には、以下もご検討いただければ幸いです。

- SSL 対応の Web サーバーを利用する
- デヂエ にアクセスするまでに認証をかける

デヂエの基本情報


システム管理者が把握しておきたい情報の閲覧方法、あるいは詳細情報を以下にまとめています。どうぞ、デヂエ の管理にご活用ください。

■ 登録情報の確認

デヂエ のバージョン情報、お客様番号、プロダクト ID を表示します。

- バージョン情報
ご利用中の デヂエ のバージョン情報 (Version 5.0 (0.1 XXXXXXXXXXXXXXX) 等)
※ ‘X’ の部分は、開発バージョンとなります。バージョン確認は、はじめの 4 桁で確認してください。
- お客様番号
ライセンスキーの設定時に入力した 6 桁のお客様番号
- プロダクト ID
お客様の デヂエ 固有の ID (自動的に付与される)

1. システム管理者としてログインする


2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。

3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する

4. 「ライブラリ運用管理/ライセンス」画面であることを確認し、
[バージョン情報・お客様番号・プロダクト ID] をクリックする
「製品バージョン情報 / お客様番号 / プロダクト ID」画面が表示されます。

■ システム実行環境の診断

デヂエ が動作している環境（ Web サーバーの設定 ）の一覧を表示します。システム管理者のみが閲覧できます。

1. システム管理者としてログインする
2. 画面右下の  [システム設定] を押す
「システム設定メニュー」画面が表示されます。
3. システム管理用パスワードが設定されている場合には、パスワードを入力する
4. 左のメニューから [その他の運用管理] をクリックする
「その他の運用管理」画面が表示されます。
5. [システム実行環境の診断] をクリックする
「システム実行環境の診断」画面が表示されます。

➤ Web サーバーが使用する CGI のバージョン番号

パラメータ名 GATEWAY_INTERFACE

値の例 CGI/1.1

➤ Web サーバーの「ホスト名」または「IPアドレス」

パラメータ名 SERVER_NAME

値の例 bozuman.co.jp

サイボウズ デヂエ を動作させているサーバーのホスト名（または IP アドレス）と違う値が入っている場合、トラブルの原因となります。一度ご確認いただければ幸いです。

お使いの Web サーバーの種類によって、SERVER_NAME の値は設定のなされ方が異なります。IIS や サイボウズ Web サーバーでは、利用者が入力した URL のサーバー名部分そのまま値として使われます。しかし、Web サーバーによっては、Web サーバーの設定ツールなどで別に設定した値が SERVER_NAME として使われることもあり、この値が間違っているとトラブルの原因となります。

UNIX の Apache では、httpd.conf で SERVER_NAME を明示的に指定する仕様になっています。従って、サイボウズ デヂエ をご利用いただく場合は、httpd.conf を編集して正しい SERVER_NAME を設定し、Apache を再起動してください。既に正しい値が設定されている場合は問題ございません。






- Web サーバーが使用している TCP/IP のポート番号
通常は 80 が設定されています
パラメータ名 SERVER_PORT
値の例 80
- Web サーバーが使用しているプロトコルの名前とバージョン番号
パラメータ名 SERVER_PROTOCOL
値の例 HTTP/1.0
- Web サーバーのソフトウェア名とバージョン番号
下の例では、IIS のバージョン 4.0 が使用されていることがわかります
パラメータ名 SERVER_SOFTWARE
値の例 Microsoft-IIS/4.0
- 現在ご使用の サイボウズ デヂエ をアクセスしているブラウザ
パラメータ名 HTTP_USER_AGENT
値の例 Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 5.01; Windows)
- Web サーバーのドキュメントルートのディレクトリの絶対パス
Web サーバーのコンテンツは、このドキュメントルートディレクトリ(ホームディレクトリ)以下に格納します
パラメータ名 DocumentRoot
値の例 C:\inetpub\wwwroot
- サイボウズ デヂエ を実行する際のサーバーマシン上でのディレクトリの絶対パス
パラメータ名 Dir
値の例 C:\inetpub\scripts\cbdb¥
このディレクトリは、サイボウズ デヂエ の実行ファイル「db.exe」が存在するディレクトリと一致している必要があります。CERN などの一部の Web サーバーでは、正しい Dir の値が把握できないため、誤動作をする恐れがあります。
- ディスクの空き容量
空き容量が 10 MB を切ると、安全のため サイボウズ デヂエ が動作しなくなりますのでご注意ください。
パラメータ名 DiskFreeSpace
値の例 264, 858, 624 (bytes)



■ ファイル構成

デヂエ をインストールすると、インストール先のディレクトリ以下に、次のような構成でファイルが保管されます。

| | |
|--|--------------------------------|
|  db.exe | デヂエ 実行ファイル (UNIX 版は db.cgi) |
|  ReadmeDezie.txt | デヂエ についての説明ファイル |
|  LicenseDezie.txt | デヂエ についての使用許諾書 |

| | |
|--|--|
|  data | ライブラリ格納用ディレクトリ |
|  db.odb | デヂエ で扱うライブラリ情報ファイル |
|  dbuser.odb | デヂエ で扱うユーザー情報ファイル |
|  db | ライブラリ用ファイル格納ディレクトリ |
|  ライブラリ ID.dbm | ライブラリファイル 1 ライブラリに 1 ファイル作成されます。ライブラリ ID はライブラリ情報で表示されます。 |
|  users | 個人設定用ファイル格納ディレクトリ |
|  ユーザーID.odb | デヂエ の個人設定情報ファイル |
|  page | テンプレート用ディレクトリ |
|  *.html | 各 テンプレートファイル |
|  file | デヂエ で添付されたファイルが格納されるディレクトリ (ファイルを添付した場合に作成されます) |
|  db | |
|  ライブラリ ID | ライブラリごとにライブラリ ID 名のディレクトリが作成され、添付ファイルが格納されます。 |
| Logs | ライブラリログが保存されるディレクトリ |
|  | ライブラリログはテキストファイルで保存されます |
|  ライブラリ ID | ライブラリごとにライブラリ ID 名のディレクトリが作成され、ライブラリログファイルが格納されます。 |

※ 上記のファイルの他に、Web サーバーのドキュメントルート (ホームディレクトリ) の下に 「 cbdb 」 というフォルダが作成され、デヂエ で使われる画像ファイル等が置かれます。通常、Windows 版では C:\inetpub\wwwroot\cbdb になります。

※ data ディレクトリ以下の 「 .mrr 」 ファイルは自動修復のためのファイルです。(ここでの表記は割愛しています)

仮想ディレクトリについて

■ 仮想ディレクトリとは

仮想ディレクトリは、Web ブラウザで指定される URL とサーバー上の実際のディレクトリとを結びつける役割をします。

仮想ディレクトリとは、簡単には以下の組み合わせです。（Web サーバーで設定します。）

| | |
|---------------|--------------------------------|
| ディレクトリ | Web で公開するファイルを入れておくディレクトリ |
| エイリアス名 | Web ブラウザからアクセスする時、URL に指定する名前 |
| ディレクトリへのアクセス権 | Web サーバーが上で設定したディレクトリに対してできること |

例) ディレクトリ C:\inetpub\scripts
 エイリアス名 /scripts
 アクセス権 読み取り不可、実行可能
 上記のように設定されている場合、『/scripts』は、『C:\inetpub\scripts』を指します。

Web ブラウザ (Internet Explorer・Netscape など) で

http:// (サーバーのホスト名) /scripts/test.exe

にアクセスすると、Web サーバーは『 /scripts 』、つまり『 C:\inetpub\scripts 』ディレクトリ以下の『 test.exe 』というファイルを『 実行 』します。

『 /scripts 』が『 実行可能 』になっていれば、その配下のディレクトリも『 実行可能 』の属性をもつので、『 /scripts/sales/test1.exe 』も『 /scripts/system/test2.exe 』も実行可能となります。



Windows 版で利用する Web サーバー（ IIS（Microsoft Internet Information Services）、サイボウズ Web サーバー、Peer Web Services ）では、以下の仮想ディレクトリがデフォルトで設定されています。

ディレクトリ C:\InetPub\scripts

エイリアス名 /scripts

アクセス権 読み取り不可、実行可能

そのため、サイボウズ製品を『C:\InetPub\scripts』へインストールした場合は、仮想ディレクトリを新たに設定しなくとも、

[http://\(サーバーのホスト名\)/scripts/office.exe?](http://(サーバーのホスト名)/scripts/office.exe?)

にアクセスすると、『C:\InetPub\scripts』ディレクトリ以下の、『office.exe』が『実行』されます。

※ サイボウズ製品を『C:\InetPub\scripts』配下以外の場所へインストールした場合は、仮想ディレクトリを新規に作成する必要があります。



■ 仮想ディレクトリの新規作成

➤ IIS 4.0 での仮想ディレクトリ新規作成手順

1. インターネットサービスマネージャを起動する

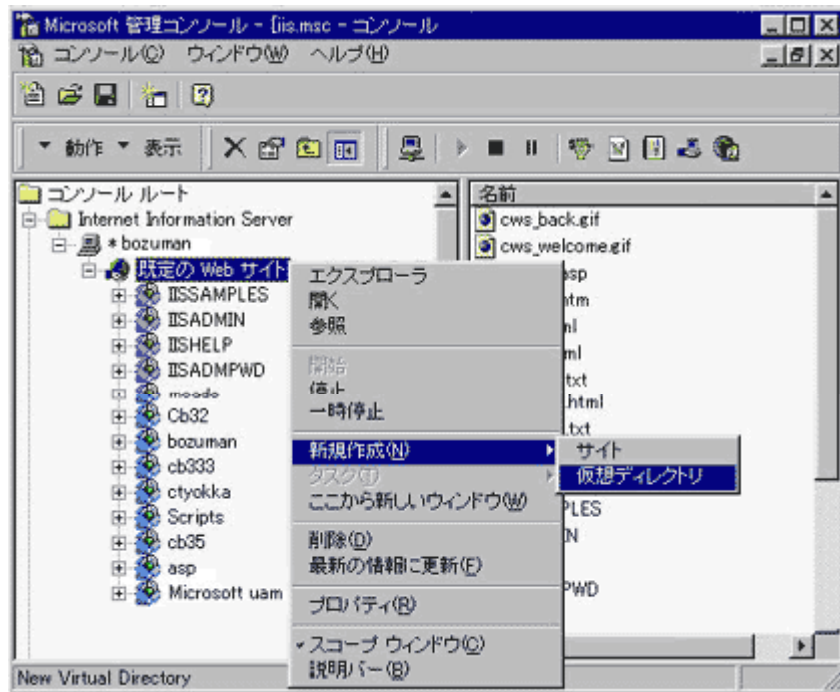
スタートメニューから、「プログラム」 - 「Windows NT 4.0 Option」 - 「Microsoft Internet Information Server」 を選択してください。

「Microsoft 管理コンソール」画面が表示されます。

「新しい仮想ディレクトリのウィザード」を開始する

画面左のツリーから「規定の Web サイト」を右クリックして、表示されるポップアップメニューから「新規作成」 - 「仮想ディレクトリ」を選択してください。

「新しい仮想ディレクトリのウィザード」画面が表示されます。



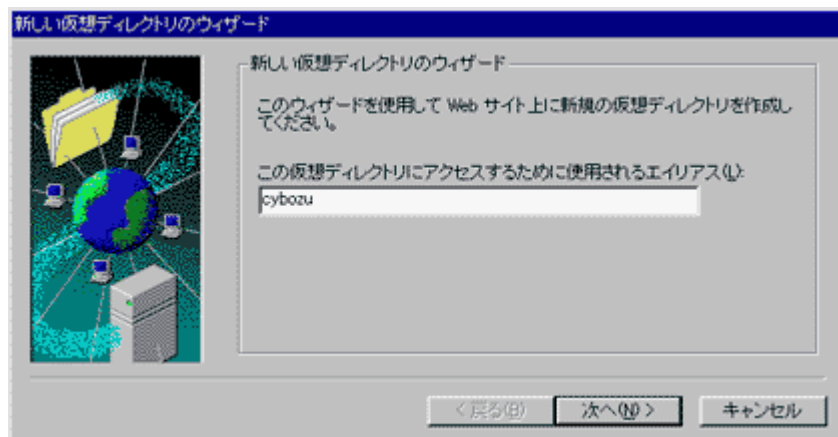
2. 仮想ディレクトリを作成する


仮想ディレクトリの作成手順を以下に示します。

1. エイリアスを入力し、「次へ」ボタンを押す

仮想ディレクトリのエイリアスを入力します。

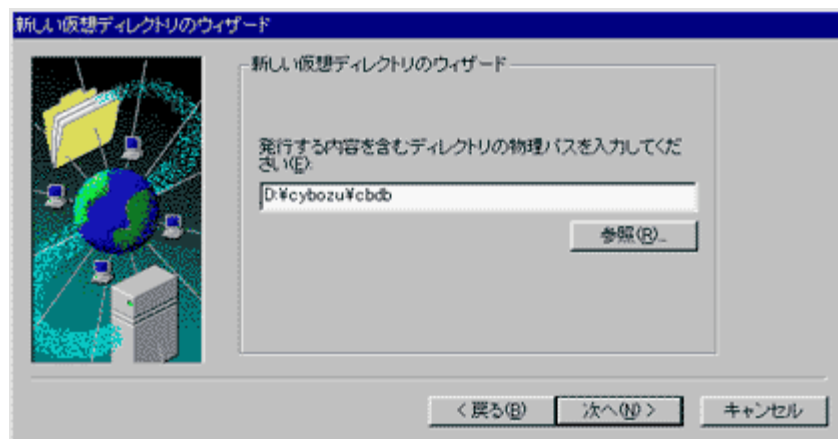
<!> エイリアスに「cbdb」は設定しないでください。



| | |
|---|--|
|  <p>ONE POINT</p> | <p>▶ エイリアスとは</p> <p>エイリアスとは、アクセスしたいディレクトリに割り当てる短い名前です。</p> <p>例えば、「cybozu」というエイリアスを指定した場合、http://(サーバー名)/cybozu という URL でディレクトリにアクセスできるようになります。</p> |
|---|--|

3. ディレクトリを指定し、「次へ」ボタンを押す

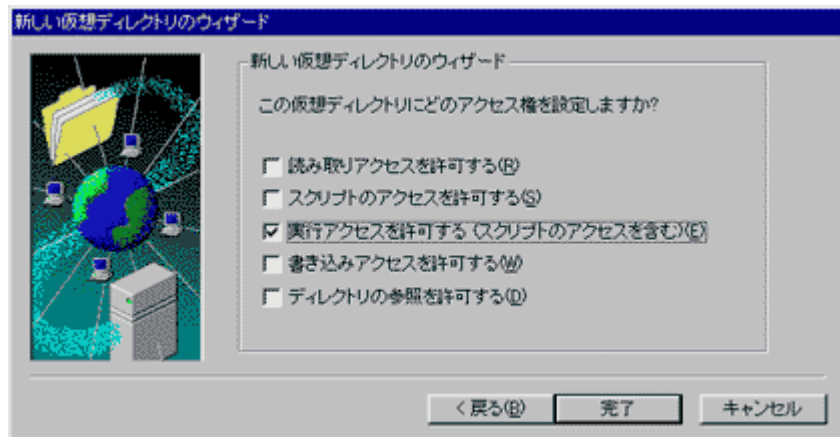
「1.」で入力したエイリアスの仮想ディレクトリの場所を指定します。ここでは、デジエのインストールディレクトリを指定します。ディレクトリの設定は、直接パスを入力するか、「参照...」ボタンを押して設定してください。



4. アクセス権を設定し、「完了」ボタンを押す

この仮想ディレクトリにアクセス権を設定します。

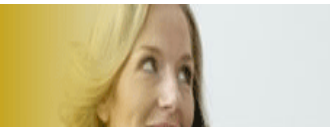
「実行アクセスを許可する（スクリプトのアクセスを含む）」のみ、チェックします。



インストールディレクトリが、D:\cybozu\cbdb、エイリアスが cybozu の場合のアクセス URL は、

<http://サーバー名 or サーバーの IP アドレス/cybozu/db.exe?>

になります。



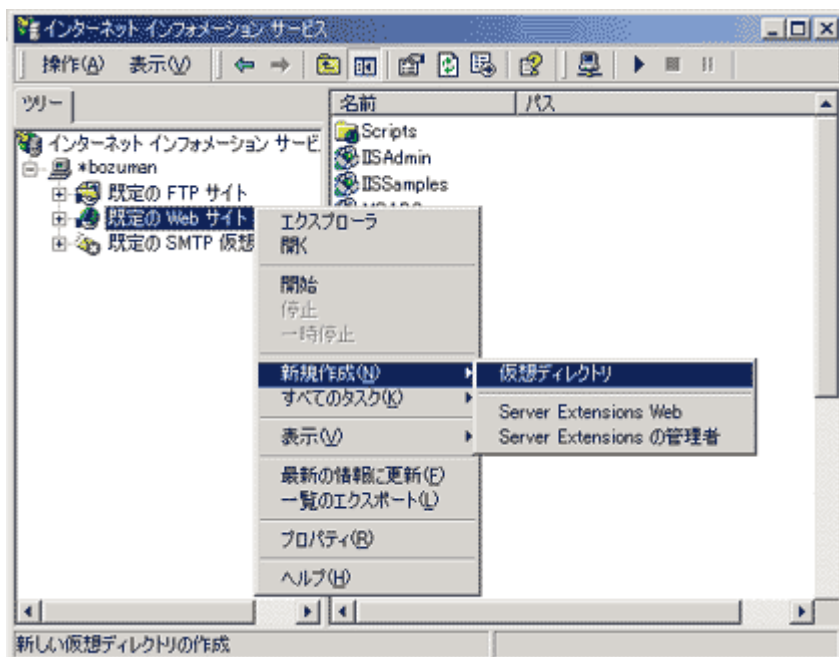
➤ IIS 5.0 での仮想ディレクトリ新規作成手順

1. インターネットサービスマネージャを起動する

コントロールパネルから、「管理ツール」 - 「インターネットサービスマネージャ」を選択してください。「インターネット インフォメーション サービス」画面が表示されます。

「新しい仮想ディレクトリのウィザード」を開始する

画面左のツリーから「規定の Web サイト」を右クリックして、表示されるポップアップメニューから「新規作成」 - 「仮想ディレクトリ」を選択してください。「仮想ディレクトリの作成ウィザード」画面が表示されます。





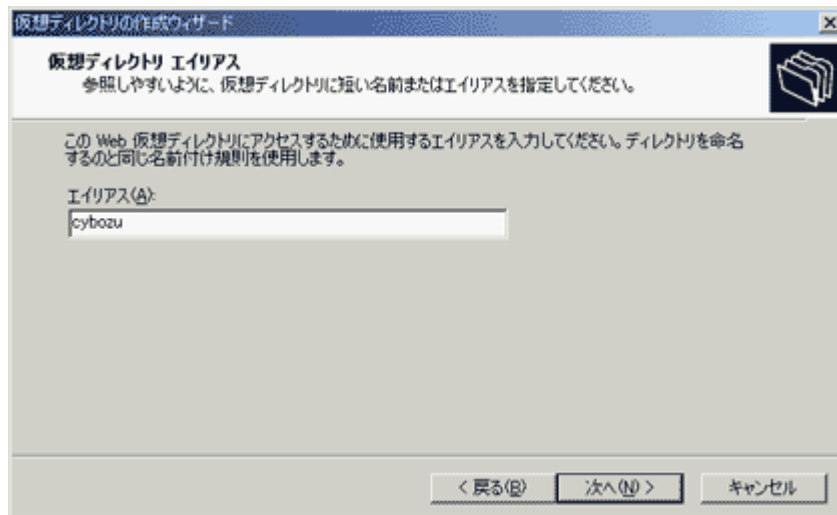
2. 仮想ディレクトリを作成する


仮想ディレクトリの作成手順を以下に示します。

1. エイリアスを入力し、「次へ」ボタンを押す

仮想ディレクトリのエイリアスを入力します。

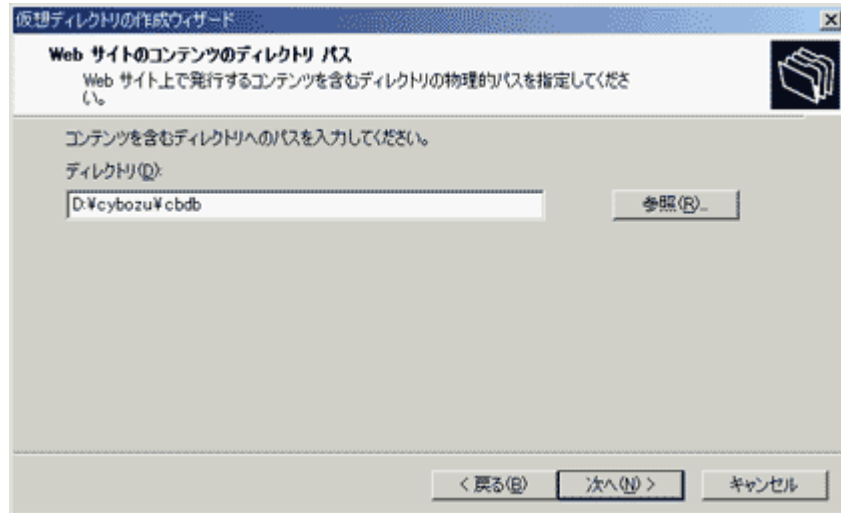
< ! > エイリアスに 「 cbdb 」 は設定しないでください。



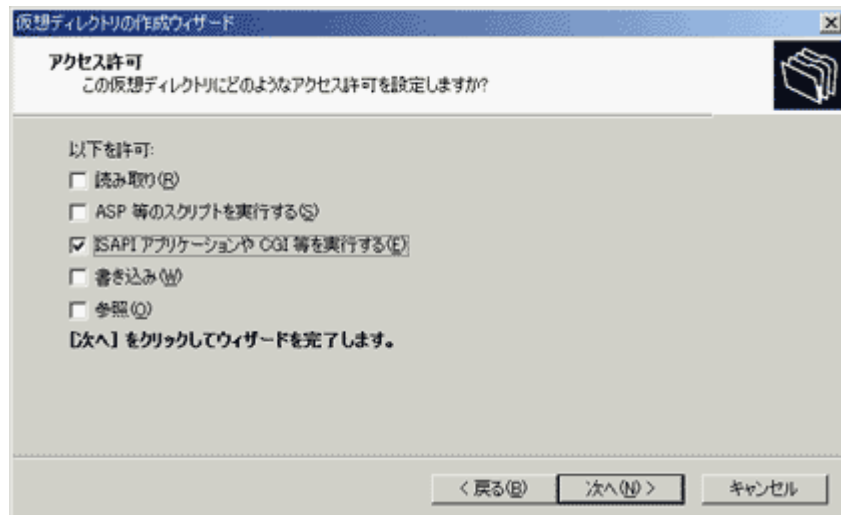
| | |
|---|--|
|  <p>ONE POINT</p> | <p>▶ エイリアスとは</p> <p>エイリアスとは、アクセスしたいディレクトリに割り当てる短い名前です。</p> <p>例えば、「 cybozu 」 というエイリアスを指定した場合、http://（サーバー名） /cybozu という URL でディレクトリにアクセスできるようになります。</p> |
|---|--|



2. 仮想ディレクトリを指定し、「次へ」のボタンを押す
「1.」 で入力したエイリアスの仮想ディレクトリの場所を指定します。
ここには、「サイボウズ AG」 のインストールディレクトリを指定します。
ディレクトリの設定は、直接パスを入力するか、「参照...」 ボタンを押してください。

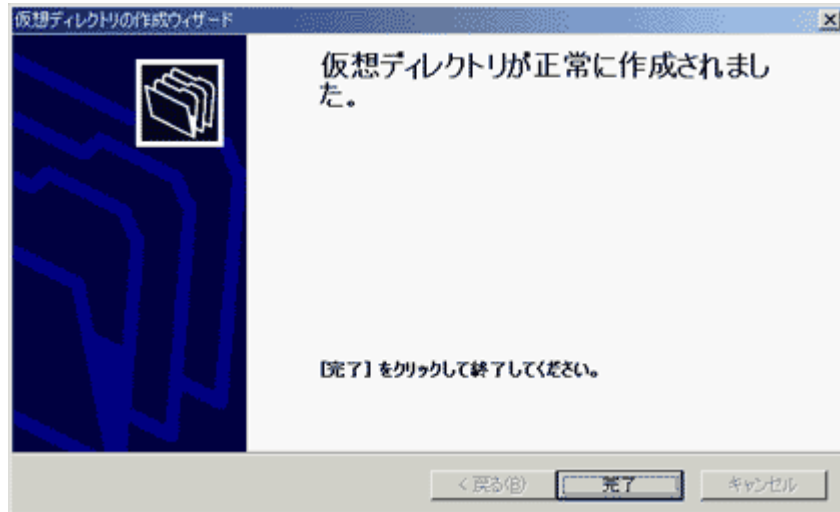


3. アクセス権を設定し、「完了」 ボタンを押す
この仮想ディレクトリにアクセス権を設定します。
「ISAPI アプリケーションや CGI 等を実行する」 のみ、チェックします。



4. ウィザードを完了する

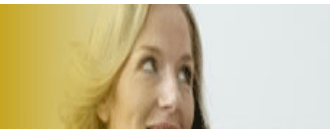
「完了」ボタンを押すと、「仮想ディレクトリの作成ウィザード」が終了します。



インストールディレクトリが、D:¥cybozu¥cbdb、エイリアスが cybozu の場合のアクセス URL は、

<http://サーバー名 or サーバーの IP アドレス/cybozu/db.exe?>

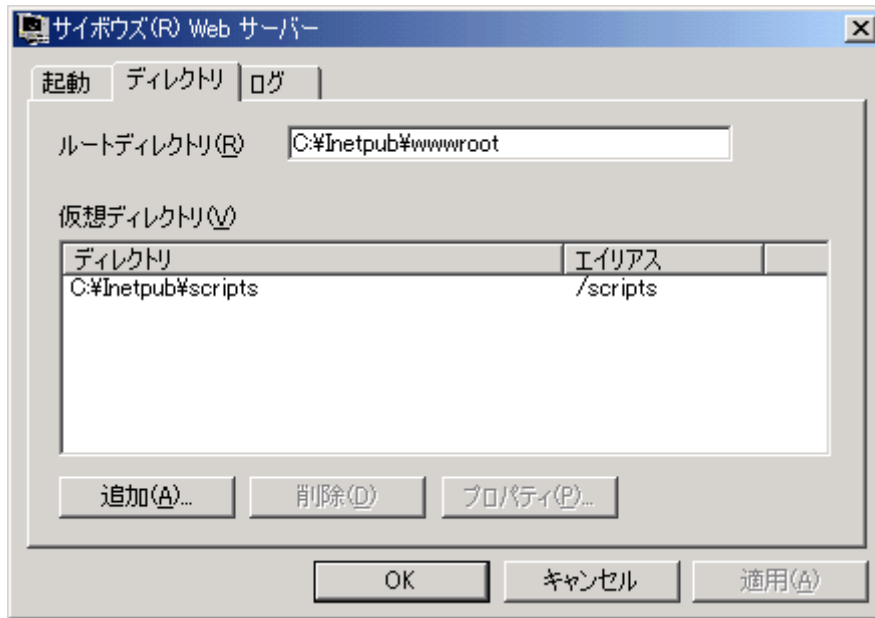
になります。



➤ サイボウズ Web サーバーでの仮想ディレクトリ新規作成手順

1. サイボウズ Web サーバーマネージャ を起動する

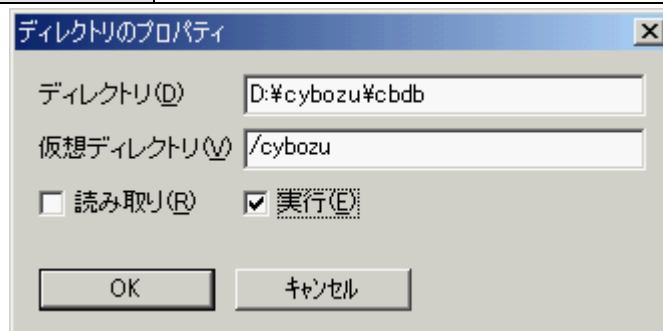
スタートメニューから、「プログラム」 - 「サイボウズ サーバー」 - 「サイボウズ Web サーバーマネージャ」を選択してください。「サイボウズ Web サーバー」画面が表示されます。



2. 仮想ディレクトリを作成し。「OK」ボタンを押す

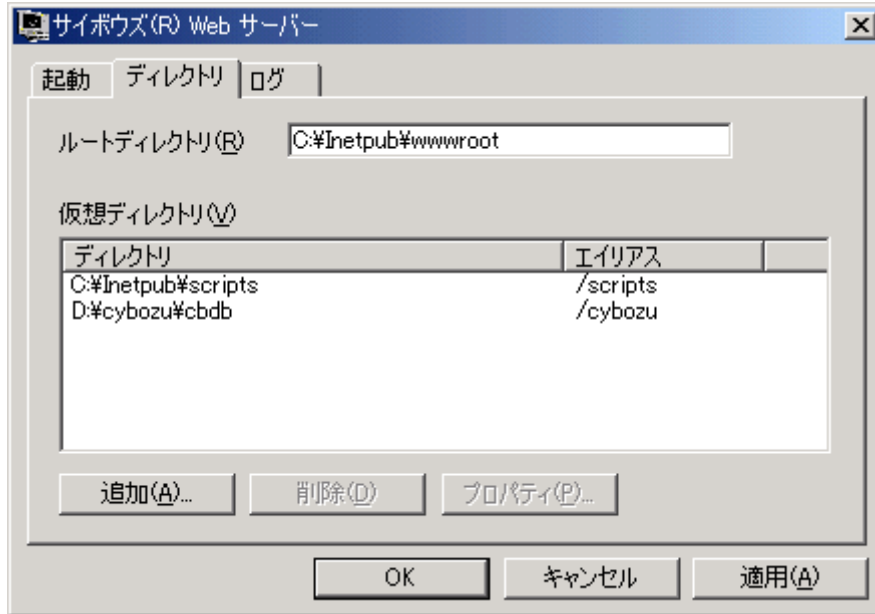
「追加」ボタンを押し、ディレクトリのプロパティ画面を表示する。

| | |
|-----------|--|
| ディレクトリ | デジエ のインストールディレクトリを指定してください。 |
| 仮想ディレクトリ名 | ディレクトリ欄に設定したディレクトリにアクセスするためのディレクトリ名を設定してください。 例) 「cybozu」 という仮想ディレクトリ名を設定した場合、 http://(サーバー名) /cybozu/ という URL でディレクトリにアクセスできるようになります。 ❗ 仮想ディレクトリ名に 「cbdb」 は設定しないでください。 |
| アクセス権 | 「実行」のみ、チェックしてください。 |



3. 完了する

「適用」ボタンを押してから、「OK」ボタンを押してください。



インストールディレクトリが、D:\cybozu\cbdb、エイリアスが cybozu の場合のアクセス URL は、

http://サーバー名 or サーバーの IP アドレス/cybozu/db.exe?

になります。



➤ PWS3.0 での仮想ディレクトリ新規作成手順

1. インターネットサービスマネージャ を起動する

スタートメニューから、「プログラム」 - 「Microsoft Peer Web Services」 - 「インターネットサービスマネージャ」 を選択してください。

「Microsoft インターネット サービスマネージャ」 画面が表示されます。

2. サービス プロパティを開く

実行中のマシン名を右クリックして、表示されるポップアップメニューから「サービス プロパティ」 を選択してください。

「サービス プロパティ」 画面が表示されます。



3. ディレクトリタブを選択し、「追加」 ボタンを押す

「ディレクトリのプロパティ」 画面が表示されます。

4. 仮想ディレクトリを作成し、「OK」ボタンを押す

| | |
|--------|---|
| ディレクトリ | デチエ のインストールディレクトリを指定してください。ディレクトリの設定は、直接パスを入力するか ボタンを押してください。 |
| エイリアス | 「仮想ディレクトリ」を選択して、エイリアス欄に仮想ディレクトリのエイリアスを入力します。 例) 「cybozu」という仮想ディレクトリ名を設定した場合、 http://(サーバー名)/cybozu/ という URL でディレクトリにアクセスできるようになります。 <!> 仮想ディレクトリ名に「cldb」は設定しないでください。 |
| アクセス | 「実行」のみ、チェックしてください。 |

5. 完了する

「適用」ボタンを押してから、「OK」ボタンを押してください。

インストールディレクトリが、D:\cybozu#cldb、エイリアスが cybozu の場合のアクセス URL は、

http://サーバー名 or サーバーの IP アドレス/cybozu/db.exe?

になります。



➤ UNIX 版 Apache での仮想ディレクトリ新規作成手順

Apache でいう 「 仮想ディレクトリ 」 は、『 Script Alias 』（ CGI 実行可能ディレクトリ ） として、Apache の設定ファイル 「 httpd.conf 」 で定義されます。

1. インストールディレクトリの確認

デヂエ のインストール時に、インストーラーは、「 インストールディレクトリの設定 」 でインストールディレクトリを初期表示します。

```

===== インストールディレクトリの確認 =====
/usr/local/www/cgi-bin/cbdb

このディレクトリをインストール先にしてよろしいですか？

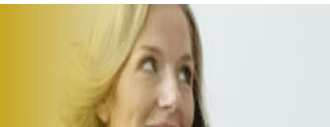
[Y]: はい / N: 別ディレクトリを設定 / Q: インストール終了 :
===== Confirming Install Directory Location =====

/usr/local/www/cgi-bin/cbdb

To install the files in this directory, press Enter. To install the files to a different directory,
Press N.

[Y]: Yes / N: Select Different Directory / Q: Quit :

```



2. httpd.conf の内容

インストーラーで初期表示されたディレクトリと異なる場所に デヂエ をインストールする場合は、そのディレクトリが「httpd.conf」で『ScriptAlias』に設定されている必要があります。

例) インストールするディレクトリを「/cgi/cybozu/cbdb」、エイリアスを「cybozu」とする場合

「httpd.conf」に、以下の赤字部分を追加します。

```
# ScriptAlias: This controls which directories contain server scripts.
# ScriptAliases are essentially the same as Aliases, except that
# documents in the realname directory are treated as applications and
# run by the server when requested rather than as documents sent to the client.
# The same rules about trailing "/" apply to ScriptAlias directives as to
# Alias.
#
ScriptAlias /cgi-bin/ "/var/www/cgi-bin/"
<Directory "/var/www/cgi-bin">
    AllowOverride None
    Options ExecCGI
    Order allow,deny
</Directory>

ScriptAlias /cybozu/ "/cgi/cybozu/cbdb/"
~~~~~
      ↑エイリアス名
<Directory "/cgi/cybozu">
    AllowOverride None
    Options ExecCGI
    Order allow,deny
    Allow from all
</Directory>
```



3. インストールディレクトリの入力

上記のように「httpd.conf」の『ScriptAlias』に設定してあるディレクトリは、インストール先として指定することが可能です。

===== インストールディレクトリの入力 =====

インストール先のディレクトリを入力して Enter を押してください。

(Q: インストールの中止)

インストール先ディレクトリ :/cgi/cybozu/cbdb

インストールディレクトリが、/cgi/cybozu/cbdb、エイリアスが cybozu の場合のアクセス URL は、

http://サーバー名 or サーバーの IP アドレス/cybozu/db.cgi?

になります。



本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

2005年 4月 1日 第四版発行

発行

サイボウズ株式会社

ナレッジ事業推進部

東京都文京区後楽1- 4- 14 後楽森ビル12F

dezie@cybozu.co.jp

デヂエ最新情報メール 登録受付中！

<http://d.cybozu.co.jp/>